

KENWOOD

ステレオ ミニディスク レコーダー

DMF-3020

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION



2 本機の特徴

本機は、ミニディスクフォーマットを採用したオーディオ機器です。ミニディスク(MD)とは、光および光磁気の技術を応用して、ディスクに録音できる機能を持っています。操作性についてはコンパクトディスク(CD)と同等になっています。また、光学式非接触方式なので、外部要因で録音記録が劣化することがなく、再生のときもミニディスクに傷がつくこともありません。

サンプリング・レート・コンバーター
搭載

本機にはあらゆるデジタルソース(32kHz, 44.1kHz, 48kHz)に対応したサンプリング・レート・コンバーターを搭載しています。

- 48kHz :DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。
- 44.1kHz :DATの標準モード、CD,MD等。
- 32kHz :DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。

多彩な編集機能

通常の編集(MOVE、DIVIDE、COMBINE、ERASE)に加え、一度に曲順をまとめて移動できるQUICK MOVE機能や、任意の曲を簡単にERASEすることができるQUICK ERASE機能など、多彩な編集機能を搭載しています。

サウンド シンクロ レック
SOUND SYNCHRO REC 搭載

音声の入力に合わせて自動的に録音の開始、一時停止を行う"SOUND SYNCHRO REC" "AUTO CUT"、CDが1曲終了すると自動的に録音を停止する"REC AUTO PAUSE"、約6秒前にさかのぼり録音を開始する"MEMORY REC"機能を搭載しています。

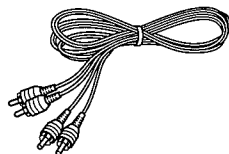
タイトル・インプット
タイトル・サーチ搭載

マルチジョグダイヤルを使って簡単にタイトルが入られる"タイトルインプット"と、聴きたい曲のタイトルを確認しながら探せる"タイトルサーチ"に加え、良く使うタイトルをプリセットできる"プリセットタイトル"機能を搭載しています。

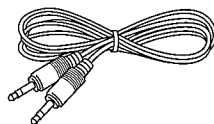
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

オーディオコード(2本)

リモートコントロールユニット(1個)
(RC-M0302)

システムコントロールコード(1本)



リモコン用単3乾電池(2本)



目次

▲ のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

はじめに	2
本機の特徴	2
目次	3
▲ 安全上のご注意	4
知っておきましょう	8
▲ 接続のしかた	10
各部のなまえと働き	12
表示部/本体部	12
リモコン部	14
リモコンの使いかた	15
MDを聴く	16
1曲目から順に聴く	16
聴きたい曲をタイトルで探す (TITLE SEARCH)	17
聴きたい曲を選ぶ	18
RANDOM再生するには	18
プログラムのしかた	20
曲順を自由にプログラムする	20
繰り返し聴く (REPEAT)	22
便利な録音関連キーの使い方	23
AUTO/MANUAL キーについて	23
MONITOR キーについて	23
REC MODEキーについて	23
曲の開始に合せて自動的に録音 (SOUND SYNCHRO REC)	25
曲の終了に合せて自動的に録音を一時停止 (REC AUTO PAUSE)	25
さかのぼって録音 (MEMORY REC)	25
録音のしかた (ANALOG)	26
ANALOG録音のしかた	26
録音のしかた (DIGITAL)	28
DIGITAL録音のしかた	28
CDとのシンクロ録音のしかた	30
DIGITAL録音とSCMSについて	30
編集機能	31
編集機能のタイプを選ぶ	31
再生中の曲を入れ換える (TRACK MOVE)	32
曲をまとめて入れ換える (QUICK MOVE)	34
再生中の曲を分ける (TRACK DIVIDE)	36
再生中の曲をつなぐ (TRACK COMBINE)	38
再生中の曲を消す (TRACK ERASE)	40
任意の曲を消す (QUICK ERASE)	42
タイトル編集のしかた	44
ディスプレイ表示の切り換えかた	48
TIME DISPLAYキーについて	48
METER MODEキーについて	48
タイマーを利用して	49
故障かな?と思ったら	50
定格	53
保証とアフターサービス (必ずお読みください)	54

安全上のご注意

この頁は、感電や火災からあなたを守るため、ご使用前に必ずお読みください。

DMF-3D20 (J)

4

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のオーディオ機器全般についての内容も記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。)

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

指定以外の電圧では使用しない



この機器は、交流100ボルト専用です。
交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》

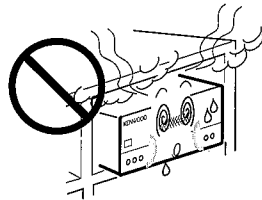
放熱に注意



設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。



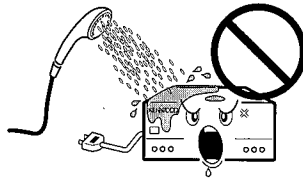
- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
- 横倒し、あおむけ、逆さまに置かない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。
《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》



風呂、シャワー室では使用しない



風呂、シャワー室など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》

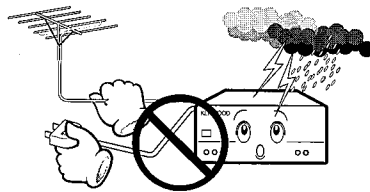


雷が鳴り始めたら



接触禁止

アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
《感電の危険があります》



乾電池は充電しない



乾電池は充電しないでください。
《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》



異常が起きた場合は



煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》



電源プラグをコンセントから抜け

- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



電源コードの取扱い

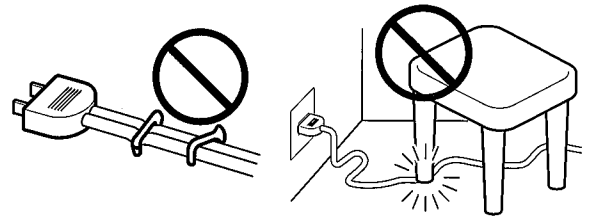


電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。

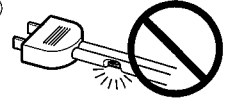


電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。

- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
- 敷物の下に電源コードを隠さない。
- 電源コードをステーブルや釘などで固定しない。
- 足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。
《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



電源コードが傷ついたら（芯線の露出や断線など）使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



- 修理をご依頼ください。

機器の内部に水を入れない



水ぬれ禁止

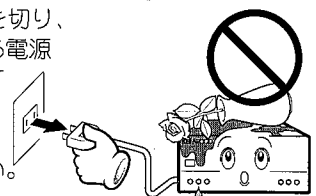
花瓶やコップなど水の入った容器を機器の上に置かないでください。内部に水が入った場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》



電源プラグをコンセントから抜け

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



警告

機器の内部に異物を入れない



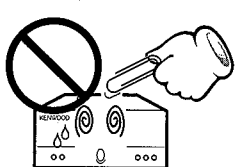
内部に異物が入った場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜け



落下した機器は使わない



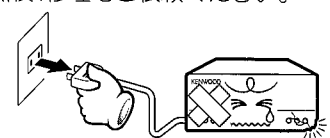
落したり、カバーやケースがこわれた機器を使用しないでください。

《火災や感電の危険があります》

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜け



電池を放置しない



電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。

《電池を飲み込むおそれがあります》

- 万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。



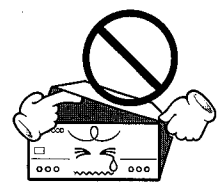
分解禁止

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。

《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

- 点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。



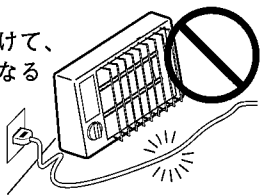
注意

電源コードを熱器具に近付けない



電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。

《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》

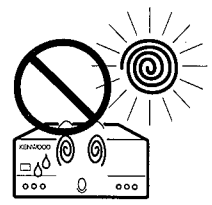


温度の高い場所には置かない



窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》

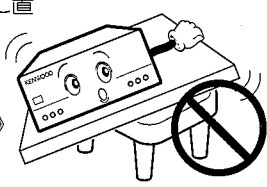


不安定な場所には置かない



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》



長期間使用しないときは



電源プラグをコンセントから抜け

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

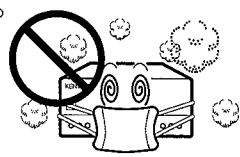
《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》

湿気やほこりのある場所に置かない



油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

《火災や感電の原因になることがあります》



音量に気をつけて



はじめに、音量(ボリューム)を最小にしてください。

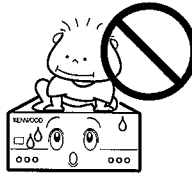
《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

機器に乗らない

お様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。
《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》



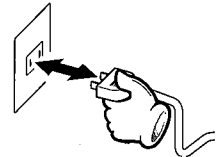
ぬれ手
禁止

電源プラグの抜き差しは

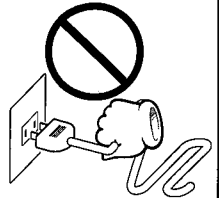
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
《感電の原因になることがあります》



電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。



コードを引っ張らないでください。
《コードの部分を引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》



指をはさまない

お様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。
《けがの原因になることがあります》



指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。
《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》
●指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。



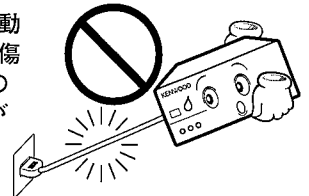
機器を移動させる際は

移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード（アンテナ線や機器間の接続コードなど）を、はずしてください。



電源プラグをコンセントから抜け

《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》

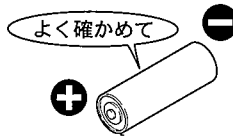


電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。
また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。
次のことを、必ず守ってください。



●極性表示（プラス "+" とマイナス "-" の向き）に注意し、表示通りに入れてください。



●指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

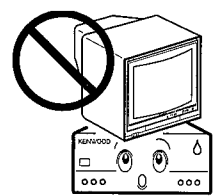


●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。



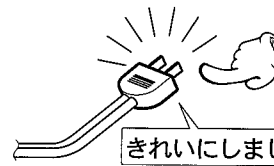
指定機器以外のものを乗せない

機器の上に指定機器以外の物を乗せないでください。
《乗せた物の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》



電源プラグは清潔に

1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。
《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》



お手入れの際は

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
《電源プラグをコンセントに接続したままの作業は、感電の原因になることがあります》



電源プラグをコンセントから抜け

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。
《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》

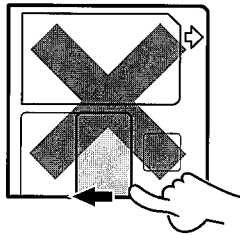
取扱上のご注意

ミニディスクの取り扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。



置き場所について

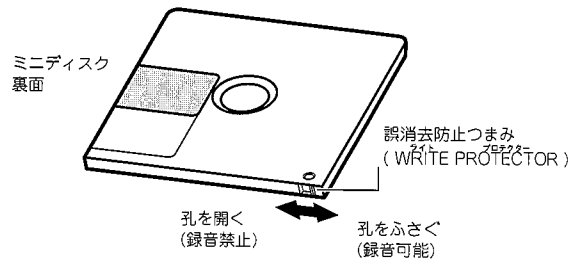
極端に湿度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみ (WRITE PROTECTOR) を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。



輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. ミニディスクを入れずに **POWER** キーをオン にします。
 - ミニディスクがないことを確かめます。
2. 数秒間待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。
3. **POWER** キーをオフ にします。

NO DISC

設置場所について

MDレコーダーは、震動に対して敏感な機器です。できるだけ震動のない場所に設置してください。

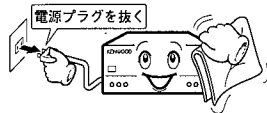
ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。



接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。

メモリーバックアップ

電源コンセントからプラグを抜いた状態、またはPOWERキーがOFFの状態でのメモリーの記憶時間は周囲の環境によって変化することがありますが、約3週間です。

長期間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。

録音、編集後には、録音、編集の情報をミニディスクに記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれておりません。

なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記をお願いいたします。

社団法人
私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティタワー11F
電話 (03) 5353-0336 (代)
FAX. (03) 5353-0337

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にいたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

接続のしかた

10

下図のように接続してください。
 関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

注意

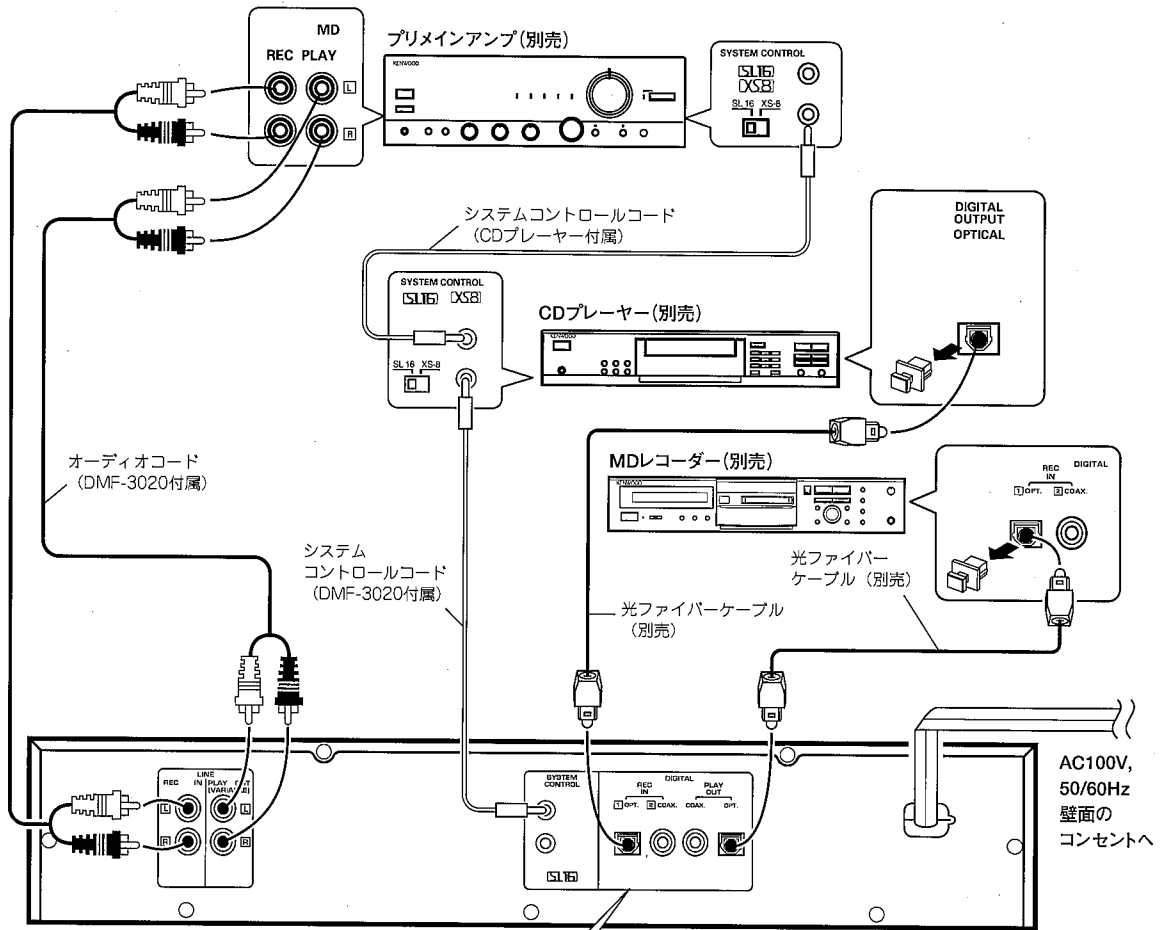
接続が完了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

マイコンの誤動作について



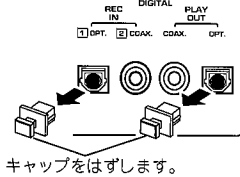
正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら...」を参照してマイコンをリセットしてください。

- 80



デジタル入出力端子 (OPTICAL)

デジタル入出力端子を使うときは、保護キャップをはずしてください。



●保護キャップの紛失にご注意下さい。

- オーディオコード(両ピンコード)は、白のプラグを左(L)端子に、赤のプラグを右(R)端子に接続してください。
- それぞれの機器のシステムコントロールコード接続端子が複数ある場合は、どちらに接続してもさしつかえありません。



1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。電源コードのプラグを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

システムコントロールコードの接続について

システムコントロール接続について

ケンウッドのオーディオコンポーネントシステムを接続したとき、システムコントロールコードを接続することで、便利な機器相互間のシステムコントロール動作が可能になります。

ケンウッドのシステムコントロールは、2種類のモードがあります。下記の端子記号の組み合わせ例に従って接続してください。

[XS8] のモード : [XR], [XS], [XS8]の組み合わせ

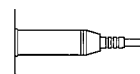
[SL16] のモード : [SL16] のみの組み合わせ

本機は [SL16] に対応しています。

システムコントロール接続する機種が全て [SL16] のモードに設定されている場合、本機とシステムコントロール接続することができます。



1. [SL16]と[XR], [XS], [XS8]等とのシステム動作の組み合わせはできません。もし、このような組み合わせであった場合は、システムコントロールコードは接続しないでください。システムコントロールコードを接続しなくても、通常の性能、操作性が損なわれることはありません。
2. アンプ、レシーバーにシステムコントロール端子がない場合は、どのシステムコントロール端子にもなにも接続しないでください。
3. 当社指定以外の機器との接続は、故障の原因となりますのでおやめください。
4. システムコントロールプラグは根元まで差し込んでください。(右図)



システムコントロール動作について

リモートコントロール

アンプまたはレシーバーに付属するシステムリモコンで、本機を操作することができます。

イージーオペレーション

本機の再生を始めると、アンプまたはレシーバーの入力切替が自動的に切り替わります。

シンクロ録音

アンプの入力切り換えをCDにして、CDを録音するとき、プレーヤーの再生を始めると、連動して録音を開始することができます。

- CD以外のデジタルを録音中に、CDを操作しないでください。誤動作する場合があります。
- SOUND SYNCHRO REC, AUTO CUT, REC AUTO PAUSEの動作中は、シンクロ録音はできません。

→ 30

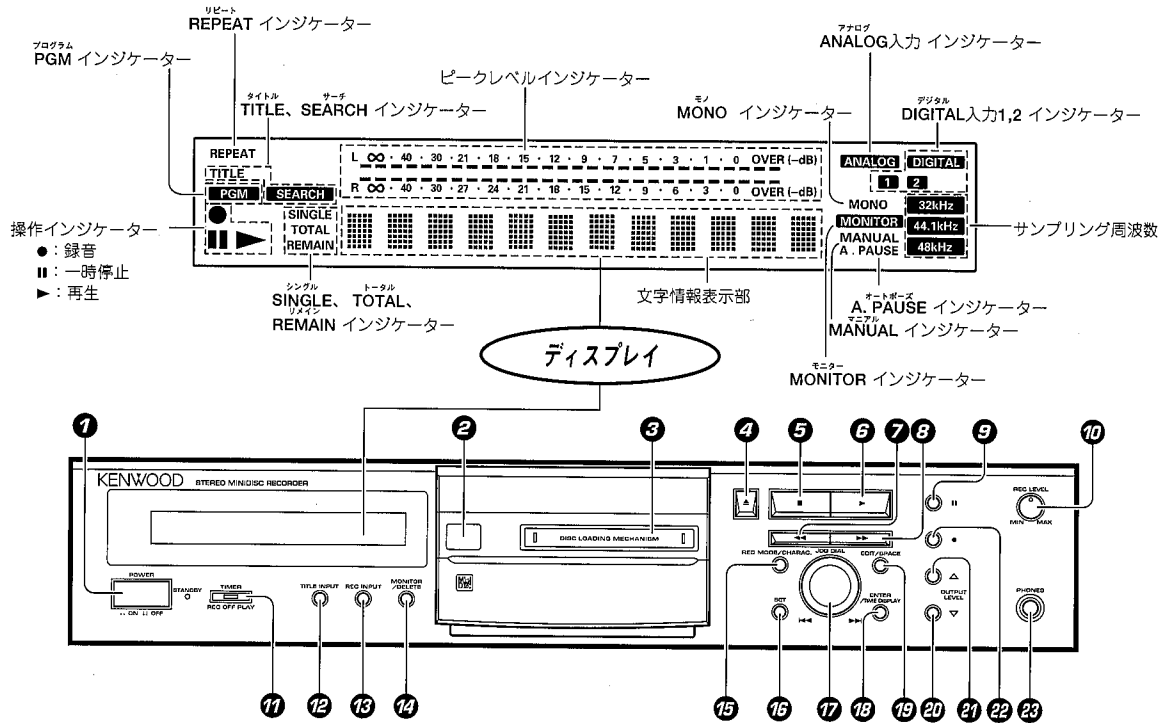
→ 25 ← 30

光ファイバーケーブルの接続について

CDプレーヤー(別売)との接続に使用します。デジタル伝送により、CDの高音質を損なうことなく録音できます。

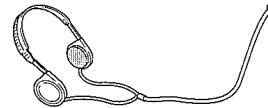
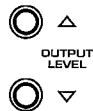
- 光ファイバーは真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。
- 市販の光ファイバーケーブルが、すべて使えるとは限りません。接続できないときは、購入店または、もよりの営業所にご相談ください。

表示部/本体部



ヘッドホンを使うには

市販のステレオヘッドホン(標準プラグ付)をPHONES端子に差し込み、前面のOUTPUT LEVELキーで、お好みの音量に調節してお聴きください。初期設定では0dB(最大音量)となります。



スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケータが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

本体部のキー説明

- 1** ^{パワー}POWERキー
: 電源のオン/オフをします。
: また、POWERキーでオンしたときに、スタンバイ状態になることがあります。これは、前回リモコン操作のスタンバイ状態を覚えていたためです。
- 2** リモコン受光部
- 3** ミニディスク挿入口
: スタンバイ状態のとき、ミニディスクを挿入すると自動的に電源がオンします。
- 4** イジェクト(▲)キー
: ミニディスクを取り出すときに押します。
- 5** 停止(■)キー
: 再生や録音動作を停止させます。
- 6** 再生(▶)キー
: 再生キーとして使います。
- 7** マニュアルサーチダウン(◀◀)キー - [19] - [46]
: 再生時は、早戻しに使います。
: 各編集モードのときは、タイトル入力のカースル移動やトラック表示内容の送りをします。
- 8** マニュアルサーチアップ(▶▶)キー - [19] - [46]
: 再生時は、早送りに使います。
: 各編集モードのときは、タイトル入力のカースル移動やトラック表示内容の送りをします。
- 9** 一時停止(⏸)キー
: 再生、録音の一時停止をします。
- 10** REC LEVELつまみ - [27]
: アナログ録音のレベルを調節します。
- 11** TIMERスイッチ
: タイマー再生、タイマー録音のときに使います。通常は、タイマーオフにしておきます。
- 12** TITLE INPUTキー - [44]
: タイトル入力モードのオン/オフをします。
- 13** REC INPUTキー - [26] - [28]
: 録音入力のデジタル(オブチカル/コアキシャル)、アナログ、モノラルのいずれかに切り換えます。
- 14** MONITOR/DELETEキー - [23]
MONITOR
: 停止中に、入力されたソースを聴くときに使います。
DELETE
: タイトル編集のとき文字の削除や、トラック編集のときトラック番号の取り消しに使います。
- 15** REC MODE/CHARAC.キー - [23] - [45]
REC MODE
: 各種録音設定値調整モード(録音モード)のオン/オフをします。
CHARAC.
: タイトル入力するとき、文字グループの選択をします。
- 16** ^{セット}SETキー - [25] - [32]
: 編集処理の確定や、タイトル入力の確定に使います。
: 録音一時停止中にこのキーを押すと、約6秒さかのぼってMEMEORY RECを開始します。
- 17** ^{ジョグ ダイヤル}JOG DIAL - [17] - [19] - [32]
スキップダウン(◀◀)/スキップアップ(▶▶)つまみ
: 再生のとき、スキップ(曲の飛び越し)として使います。
: 録音のとき、録音設定値調節モードを行います。
: タイトルサーチのとき、トラック番号の選択に使います。
: タイトル入力モードのとき、トラック番号、文字の選択をします。
: 編集モードのとき、編集モードやトラック番号の選択をします。
- 18** ^{エンター タイム ディスプレイ}ENTER/TIME DISPLAY キー - [33] - [48]
ENTER
: 編集処理の実行や、タイトル入力の実行に使います。
TIME DISPLAY
: 時間およびタイトル表示のモードを切り換えます。
- 19** ^{エディット スペース}EDIT/SPACEキー - [32] - [47]
EDIT
: 編集モードのオン/オフをします。
SPACE
: タイトル入力するとき、1文字ぶん空白を挿入します。
- 20** ^{アウトプット レベル}OUTPUT LEVELダウン(▽)キー - [12]
: 出力のレベルとヘッドホンの音量をダウンさせます。
- 21** ^{アウトプット レベル}OUTPUT LEVELアップ(△)キー - [12]
: 出力のレベルとヘッドホンの音量をアップさせます。
- 22** 録音(●)キー - [25] - [27] - [29]
: 録音をするときに使います。
停止中
: 録音可能なディスクが入っているとき、●キーを押すと、録音一時停止状態になります。
(現在録音されている最終トラックの後ろへの録音一時停止状態になります。)
録音一時停止中
: ●キーを押すと、SOUND SYNCHRO REC待ち状態になります。
: SOUND SYNCHRO REC待機中は、通常の録音一時停止状態になります。
- 23** ^{ホンズ}PHONES端子
: ヘッドホン(別売)を接続します。

リモコン部

本リモコンは、基本操作およびいろいろな応用操作キーが収納されており、さまざまな用途にご利用できます。本体と同じ名称のキーは本体と同様の働きをします。

① 数字キー/文字群編集キー

数字キー

0-9

:トラック番号をダイレクトに選択するときに使います。

+10

:10以上のトラック番号を入力するときに使います。

+100

:100以上のトラック番号を入力するときに使います。

:タイトル編集のとき、文字や記号の選択にも使います

CHARACTER DELETE/CLEARキー

CHARACTER DELETE

:タイトル入力するとき、文字を削除します。

CLEAR

:編集の時、入れ換えた曲の取り消しに使います。

:プログラムを削除します。

CHARACTER SPACE/CHECKキー

CHARACTER SPACE

:タイトル入力するとき、1文字ぶんの空白を挿入します。

CHECK

:プログラム内容を確認します。

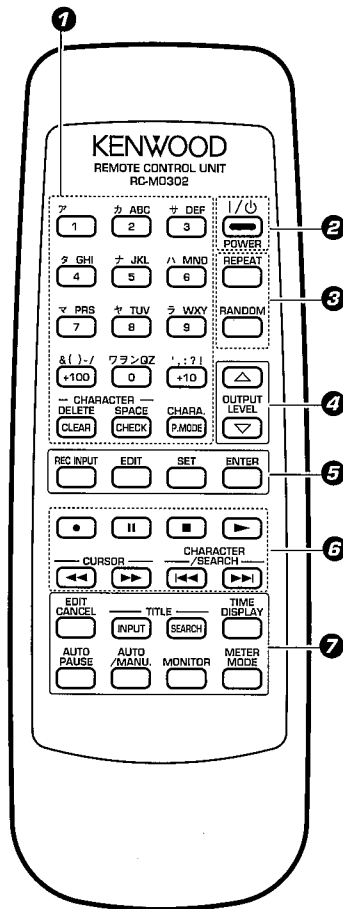
CHARA./P.MODEキー

CHARA.

:タイトル入力するとき、文字グループの選択に使います。

P.MODE

:プログラム再生するときに使います。



型名:RC-M0302
赤外線方式

② ON/STANDBYキー

:電源のオン/スタンバイ(I/O)を切り換えます。

③ REPEATキー

:繰り返し再生のリピートモードの切り換えに使います。

RANDOMキー

:ランダム再生をするときに使います。

④ OUTPUT LEVEL (ΔV) キー

:出力のレベルとヘッドホンの音量を調節します。

⑤ 基本操作キー

- :録音キー
- ⏸ :一時停止キー
- :停止キー
- ▶ :再生キー

CURSOR/◀, ▶ キー

:タイトル入力時は、カーソルの移動に使います。

:再生のとき、早送り、早戻しキーとして使います。

CHARACTER/SEARCH/◀, ▶ キー

:タイトル入力するとき、文字グループの選択に使います。

:タイトルサーチのとき、トラック番号の選択に使います。

:再生のとき、スキップ(曲の飛び越し)として使います。

⑦ 応用操作キー

EDIT CANCEL キー

:編集作業の取り消しに使います。

TITLE INPUT キー

:タイトル入力モードのオン/オフをします。

:タイトル検索モードのオン/オフをします。

:タイトル編集時、タイトル変更入力時の"上書きモード"、"挿入モード"の切り換えをします。

:時間およびタイトル表示のモードを切り換えます。

AUTO PAUSE キー

:再生中に、トラック番号が変わったところで一時停止ができます。

:録音中、録音一時停止中に押すとAUTO REC PAUSEがオンになります。

AUTO/MANU. キー

:録音のとき、トラック番号を自動で付ける(AUTO)か、後で手動で付ける(MANUAL)かを選びます。

MONITOR キー

:停止中に、入力されたソースを聴くときに使います。

METER MODE キー

:レベルメーター表示の内容を切り換えます。

⑤ 編集モードキー

REC INPUT キー

:録音入力のデジタル/アナログ/コアクシヤル、アナログ、モノラルのいずれかに切り換えます。

EDIT キー

:編集モードのオン/オフをします。

SET キー

:編集処理の確定や、タイトル入力の確定に使います。

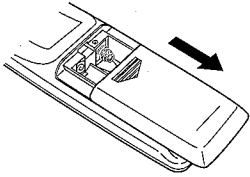
:録音一時停止中にこのキーを押すと、約6秒さかのぼってMEMORY RECを開始します。

ENTER キー

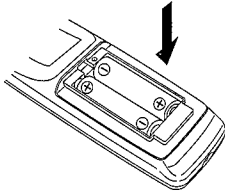
:編集処理の実行や、タイトル入力の実行に使います。

電池の入れかた

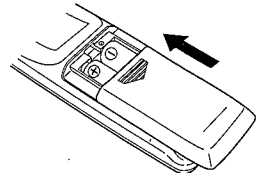
1 ふたを開ける



2 電池を入れる



3 カバーを閉める

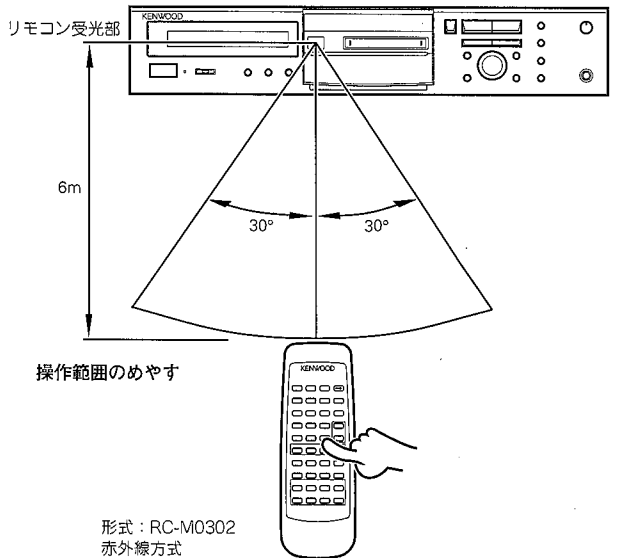


●単3乾電池(R6/SUM-3)2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

電源プラグをコンセントに差し込み、本体の^{パワー}POWERキーをオンにして電源をオンにします。(スタンバイ状態になった時は、リモコンの^{オン}"ON/STANDBY"キーを押します。)電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

●リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

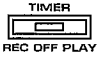


1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、全部新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

ミニディスクを、1曲目から、そのままの曲順で聴くときの使いかたです。

MDを再生する前に

タイマー
TIMERスイッチをオフにする。



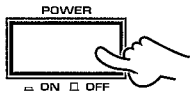
モノラル録音されたミニディスクについて

本機は、"モノラル長時間モード"で録音されたミニディスクも再生できます。"モノラル長時間モード"の場合、同じ録音時間内容がステレオモード時の半分のデータ量となるため、再生時間(録音時間)はステレオモード時の2倍(最大148分)になります。

- "モノラル長時間モード"で録音したミニディスクは、モノラル再生対応をしていない機器では、正常に再生ができません。

1 曲目から順に聴く

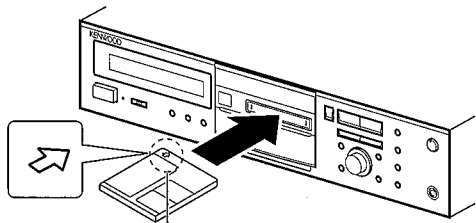
1 電源を入れる



NO DISC

ミニディスクが入っていないとき

2 ミニディスクを入れる



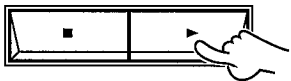
矢印の方向に入れる

- ミニディスクを本機の挿入口へ、確実に差し込んでください。
- "**READING**"^{リーディング}が点滅して、ミニディスクの内容を調べます。
- ミニディスクにタイトルが記録されているときは、タイトルを表示します。

L 00 40 30 21 10 10 12 9 7 5 3 1 0 OVER(-dB)
SINGLE 001 0:00

- "**PGM**"表示が点灯しているときは、リモコンの**CHARA./P.MODE**^{キャラクター プレイモード}キーを押して消灯させてください。

3 再生を始める



- 数秒後に、1曲目から再生します。

L 00 40 30 21 10 10 12 9 7 5 3 1 0 OVER(-dB)
SINGLE 001 4:12
再生中のトラック番号 再生中の曲の経過時間

準備しましょう

- ① MDを停止する。
- ② トラックモードを確認する(PGM表示を消灯させる)



聴きたい曲をタイトルで探す (TITLE SEARCH)

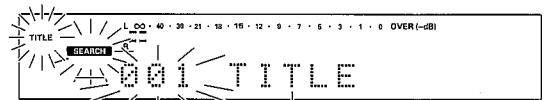
タイトル サーチ

1 TITLE SEARCHキーを押す

タイトル サーチ



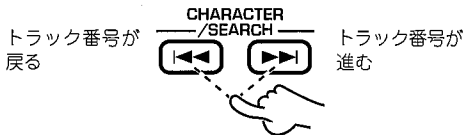
もう一度 タイトル サーチ TITLE SEARCHキーを押すと、タイトルサーチモードが解除します。



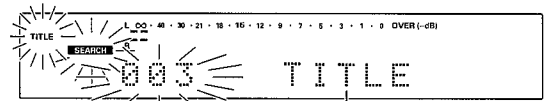
タイトル

- タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と"....."が表示されます。
- 停止中でも、再生中でも可能です。

2 聴きたい曲名 (タイトル) を選ぶ



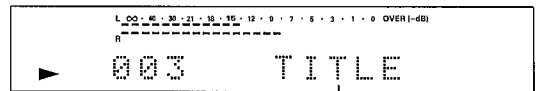
もう一度 タイトル サーチ TITLE SEARCHキーを押すと、タイトルサーチモードが解除します。



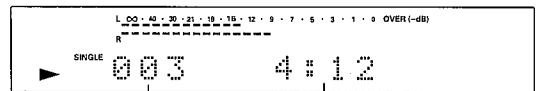
選曲

文字が左へ流れます

3 再生を始める



文字が左へ流れます



再生中のトラック番号

再生中の曲の経過時間

- 数秒後に、再生します。

18 聴きたい曲を選ぶ

1 トラックモードにする

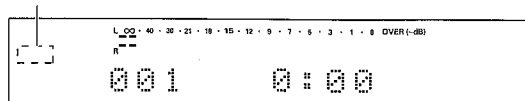
停止中に押す



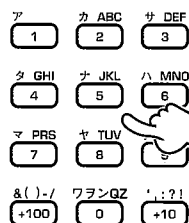
押すたびに切り換わります。

- ① トラックモード :PGM消灯
- ② プログラムモード:PGM点灯

"PGM"消灯



2 聴きたい曲番号を選ぶ



数字キーを押す順序は...

- 23曲目 : **+10** **+10** **3** の順に押す
- 40曲目 : **+10** **+10** **+10** **+10** **0** の順に押す
- 212曲目 : **+100** **+100** **+10** **2** の順に押す

曲の途中をダイレクトに再生するには...

- 7曲目の前半を再生(7.2) : **7** **0** **2** の順に押す
- 7曲目の真ん中を再生(7.5) : **7** **0** **5** の順に押す
- 7曲目の後半を再生(7.8) : **7** **0** **8** の順に押す
- 再生中の真ん中を再生(.5) : **0** **5** の順に押す

- リーディング"READING"が点滅中にミニディスクにない曲を選ぶと、ミニディスクの最後の曲を再生します。

ランダム

RANDOM再生するには

1 トラックモードにする

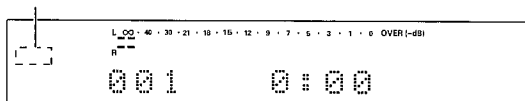
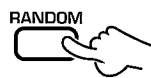
停止中に押す



押すたびに切り換わります。

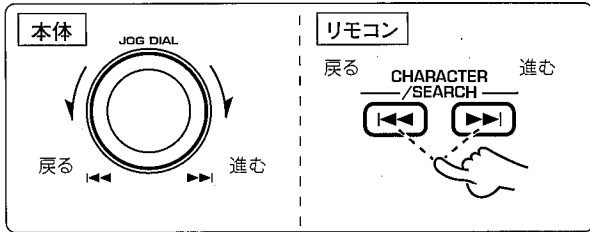
- ① トラックモード :PGM消灯
- ② プログラムモード:PGM点灯

"PGM"消灯

2 ランダム RANDOMキーを押す

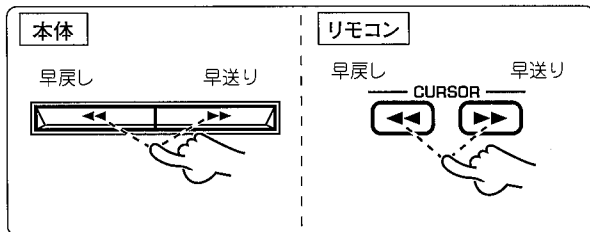
- プログラムモードでのランダム再生はできません。
- ランダム再生中にランダムRANDOMキーを押すと、ランダム再生を解除し、その場所から再生します。(曲の終り近くでは次の曲に移る場合があります。)
- 通常の再生中にランダムRANDOMキーを押すと、現在再生中の曲を停止してランダム再生を開始します。

曲を飛び越すには (スキップ)



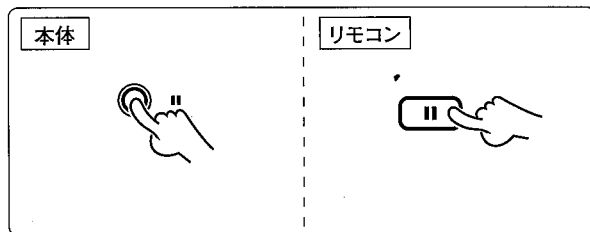
- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。
- 前曲の最初に戻るときは、再生中約2秒以内に◀◀キーを操作します。

早送り・早戻しするには (サーチ)



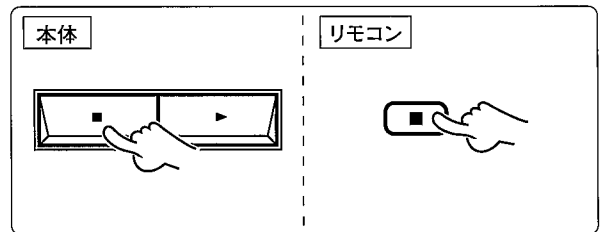
- キーから手を離したところから、再生します。(一時停止中にサーチした場合は、サーチ先で一時停止になります)
- 再生中の早送り、早戻しは、音が出ます。
- 再生一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音が出ません。
- プログラムモード時、早戻しをして曲のはじめまでくると、その曲を再生します。

一時停止するには

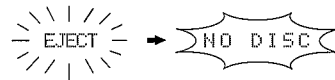
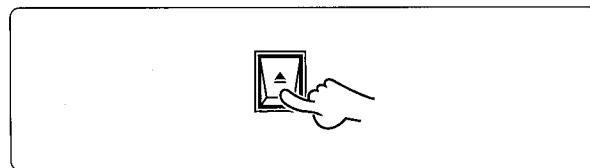


- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止めるには



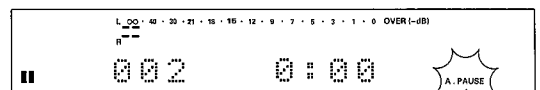
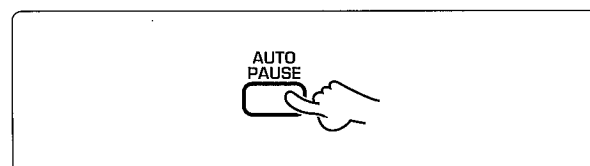
ミニディスクを取り出すとき (本体のみ)



ミニディスク排出

オートポーズキーについて (リモコンのみ)

このキーを押すと、1曲再生終了ごとに一時停止します。
この機能は、語学のレッスンや各曲の後に間が欲しいときに便利です。



"A. PAUSE"点灯

- 再生するときには、▶キーを押します。
- 本機能を使用しないときは、必ずAUTO PAUSEキーを押して"A. PAUSE"の表示を消灯してください。

プログラムのしかた

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大32曲)

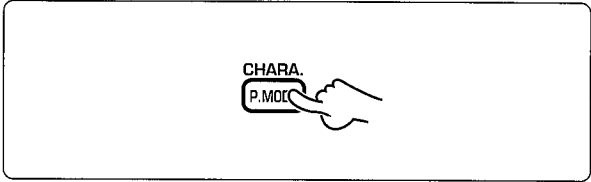
準備しましょう

- ① ミニディスクを入れる。
- ② MDを停止する。



曲順を自由にプログラムする

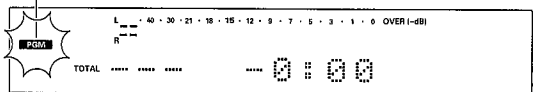
1 プログラムモードにする



押すたびに切り換わります。

- ① トラックモード : PGM消灯
- ② プログラムモード : PGM点灯

"PGM"点灯



2 聴きたい順に曲番号を選ぶ

① 聴きたい曲番号を、順に選ぶ

ア 1	カ ABC 2	サ DEF 3
タ GHI 4	ナ JKL 5	ハ MNO 6
マ PRS 7	ヤ TUV 8	シ 9
& (-) / +100	ワランQZ 0	リ: ?! +10

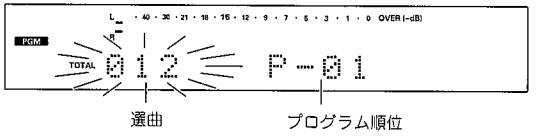
② 確定する



手順①と②を繰り返して、希望の曲順に並べます。

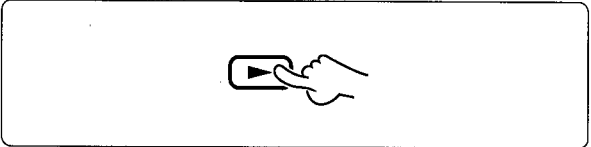
数字キーを押す順序は...

トラック番号12を選ぶとき: **+10** **[2]**, CHARA./P.MODEキーの順に押す。

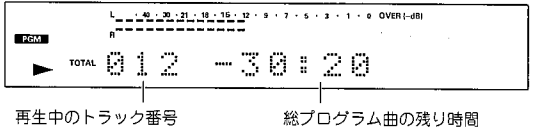


- 32曲まで選べます。"FULL"と表示したときは、それ以上プログラムを受け付けません。
- 間違えたときはCHARACTER DELETE/CLEARキーを押してから、選び直してください。
- 極端に短い曲は、プログラムできません。
- プログラム時間の合計が256分以上になると、表示が"-*: **: **"になります。

3 再生する



● 表示点滅中にCHARA./P.MODEキーを押さないと入力が中止されます。



- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に、◀◀ または ▶▶ キーを押すと、押した方向へ飛び越します。

曲を追加するには

停止中に押す

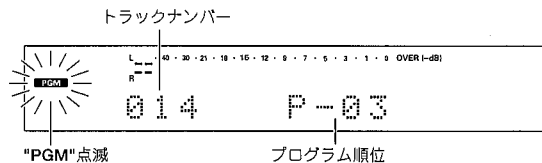
ア 1	カ ABC 2	サ DEF 3
タ GHI 4	ナ JKL 5	ハ MNO 6
マ PRS 7	ヤ TUV 8	ラ WXY 9
&(-)/ +100	ワランQZ 0	':;?! +10

CHARA.
P.MODE

- 追加したい曲番号を選ぶと、プログラムの最後に追加されます。
- 表示点滅中にCHARA./P.MODEキーを押さないと入力中止されます。

曲順を確かめるには

CHARACTER
DELETE SPACE
CLEAR CHECK



- 押すたびに、プログラムされた曲を順に表示していきます。

プログラムした曲を取り消すには

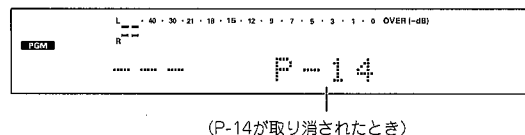
後ろから順に消す
停止中に押す

CHARACTER
DELETE SPACE
CLEAR

全部消す
停止中に押す

CHARA.
P.MODE

取り消した曲のプログラム番号を表示



- プログラムの内容が、全部消えます。

プログラムした曲を繰り返し聴くことができます。

準備しましょう

MDを停止する。



リピート
繰り返し聴く (REPEAT)

選んだ曲だけを繰り返すには

① 繰り返す曲を選ぶ

① プログラムモードにする



② 順に曲を選ぶ

ア	カ ABC	サ DEF
1	2	3
タ GHI	ナ JKL	ハ MNO
4	5	6
マ PRS	ヤ TUV	ラ WXY
7	8	9
&()-/ ワランGZ	! : ?	
+100	0	+10



② 手順②を繰り返す

③ リピートモードにする



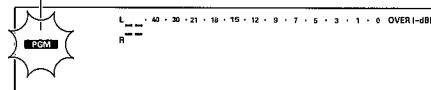
④ 再生する



押すたびに切り換わります。

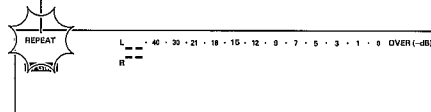
- ① トラックモード : PGM消灯
- ② プログラムモード : PGM点灯

"PGM"点灯



- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。

"REPEAT"点灯



繰り返し再生をやめるには

もう一度、REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、MDレコーダーのモード(PGM) に従った再生に戻ります。

ディスク全体を繰り返すには

① トラックモードにする



② リピートモードにする



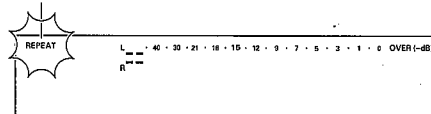
③ 再生する



押すたびに切り換わります。

- ① トラックモード : PGM消灯
- ② プログラムモード : PGM点灯

"REPEAT"点灯



繰り返し再生をやめるには

もう一度、REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、MDレコーダーのモード(トラック) に従った再生に戻ります。

便利な録音関連キーの使い方

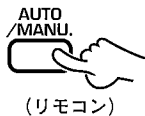
オート マニュアル

DMF-302D (J)

AUTO/MANU.キーについて

録音時、トラック番号を自動的に付けて(AUTO TNO)録音するか、録音中または録音後手動でトラック番号を付けるかを切り換えます。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

録音を始める前に選ぶ



(リモコン)

L 00 40 30 20 10 05 07 06 03 01 0 OVER (-dB)

R



"AUTO" 時点灯、"MANUAL" 時点灯

モニター

MONITORキーについて

停止中に、入力されたソースを聴くときに使います。

レック インプット デジタル
REC INPUTがDIGITALの場合、その信号のサンプリング周波数(48kHz、44.1kHz、32kHz)の表示をします。

停止中に押す

本体

MONITOR
/DELETE



リモコン

MONITOR



L 00 40 30 20 10 05 07 06 03 01 0 OVER (-dB)

R



"MONITOR" サンプリング周波数"点灯

レック モード

REC MODEキーについて

録音関係の設定調整モード表示を選択し、各種設定値の調整ができます。

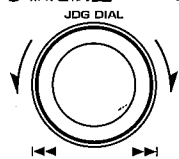
微調整の設定のしかた

① "REC MODE"をオンにする

レック モード
REC MODE/CHARAC.



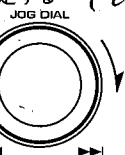
② 設定調整モードを選ぶ



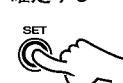
確定する



③ 設定する (ON 12 03)



確定する



続けて他の設定を変更したい場合は、SETキーを押します。(手順②へ進みます。)

押すたびに切り換わります。

- ① REC MODE: オフ
- ② REC MODE: オン

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- オート カット? : AUTO CUTのオン/オフ切り換え
- オート タイム? : AUTO TNOの無音検出時間の設定
- オート レベル? : AUTO TNOの無音検出レベルとSOUND SYNCHRO REC、AUTO CUT、REC AUTO PAUSEの音声検出レベルの設定
- レック ライティング? : 録音終了時のUTOC書き込みモードの切り換え

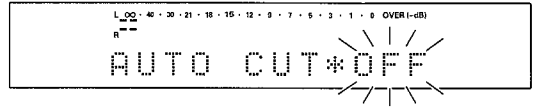
●手順②で選んだ"設定調整モード"の設定内容を手順③で変更します。

●終了したいときは、REC MODEキーを押します。

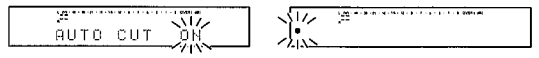
オート カット
"AUTO CUT ?"表示を選択の場合

"AUTO CUT"は、録音中に音声^{サウンド}が一定以下になると自動的に"SOUND SYNCHRO REC"の一時停止状態になります。
"AUTO CUT ?"表示のとき、SETキーを操作するとAUTO CUTモード設定の初期表示になります。
このとき、スキップアップ/ダウンつまみでAUTO CUTのオン/オフを設定し、SETキーで確定します。
初期設定は"AUTO CUT *OFF"となります。

初期表示



選択表示

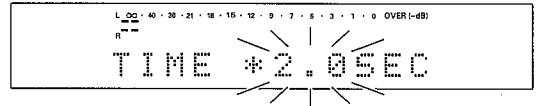


録音中

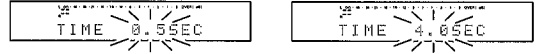
オート タイム
"AUTO TIME ?"表示を選択の場合

"AUTO TIME ?"表示のとき、SETキーを操作するとオートトラックナンバーの無音検出時間設定の初期表示になります。
このとき、スキップアップ/ダウンつまみで無音検出時間を設定し、SETキーで確定します。
初期設定は"TIME *2.0SEC"となり、0.5秒ステップで0.5から4.0秒までの時間が設定できます。

初期表示



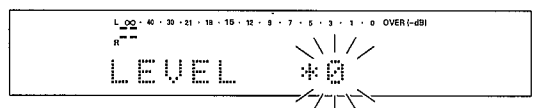
調整値表示



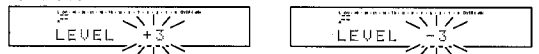
オート レベル
"AUTO LEVEL ?"表示を選択の場合

"AUTO LEVEL ?"表示のとき、SETキーを操作するとオートトラックナンバーの無音検出レベルと、"SOUND SYNCHRO REC"、"AUTO CUT"、"REC AUTO PAUSE"の検出レベルを、一括設定する初期表示になります。
このとき、スキップアップ/ダウンつまみで無音検出レベルを設定し、SETキーで確定します。
設定されたレベルが、共通の検出レベルになります。
初期設定は"LEVEL *0"となり、+3から-3までのレベルが設定できます。

初期表示



調整値表示



設定値	-3	-2	-1	*0	+1	+2	+3
AUTO TNO	TNOが：繰り上りにくくなる			↔			繰り上り易くなる
AUTO CUT	録音が：一時停止しにくくなる			↔			一時停止し易くなる
REC AUTO PAUSE	録音が：一時停止しにくくなる			↔			一時停止し易くなる
SOUND SYNCHRO REC	録音が：スタートし易くなる			↔			スタートしにくくなる

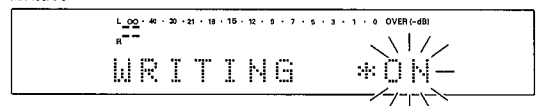
●アナログ録音時、テープなどのノイズで、SOUND SYNCHRO RECが働き、録音を開始する事があります。この時は設定レベルを上げてください。

AUTO TNO (Automatic track number): 自動的にトラックナンバーを繰り上げる

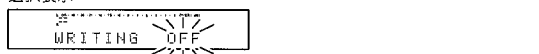
レック ライティング
"REC→WRITING ?"表示を選択の場合

"WRITING"とは、ミニディスクに情報を書き込んでいる状態をいいます。
"REC→WRITING ?"表示のとき、SETキーを操作すると"書き込みモード"の設定の初期表示になります。初期設定は"WRITING *ON"となります。
このとき、スキップアップ/ダウンつまみで録音終了時のUTOC書き込みのオン/オフを設定し、SETキーで確定します。

初期表示



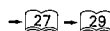
選択表示



音声にあわせて自動的に録音を開始、一時停止したり、6秒前の音声にさかのぼって録音することができます。

準備しましょう

録音一時停止にする。



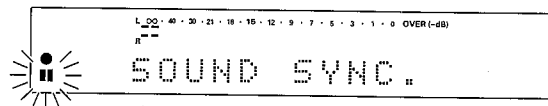
サウンド シンクロ レック
曲の開始に合わせて自動的に録音 (SOUND SYNCHRO REC)

一定以上の音声の入力があると、自動的に録音を開始します。
 この機能は、選択した何曲かを録音する時に便利です。

録音一時停止中に押す。



曲が始まると録音を開始します。



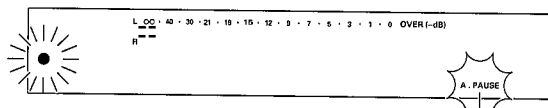
- 音の検出レベルはREC MODEの"オートレベル"で調整できます。→ [24]
- 再度、●キーを押すと通常の録音一時停止状態になります。
- 音楽ソースによっては、頭切れをおこす場合があります。

レック オートポーズ
曲の終了に合わせて自動的に録音を一時停止 (REC AUTO PAUSE)

音声の入力が3秒以上の間一定以下になる、又はCDのデジタルREC時は再生中の曲のトラックナンバーが変わると自動的に録音を一時停止します。

この機能は、CDを1曲だけ録音したいときに便利です。

録音中、または録音一時停止中に押す。



"A. PAUSE"点灯

- 音の検出レベルはREC MODEの"AUTO LEVEL"で調整できます。→ [24]
- 解除するには、■キーがAUTO PAUSEキーを再度押してください。

メモリー レック
さかのぼって録音 (MEMORY REC)

キーを押した6秒前の音声から録音をします。
 ラジオ放送を録音する時などに便利です。

録音一時停止中に押す。



6秒前の音声から録音を開始します。

- 録音一時停止の状態から6秒以上経たないと、6秒前からの録音はできません。

アナログ 録音のしかた (ANALOG)

DMF-3D20 (J)

26

オーディオコードで接続されている入力端子には、アナログ信号が入ってきます。本機では、アナログ端子に入った信号を、デジタル信号に置き換えて録音しています。(以後、アナログ録音と呼びます。)

準備しましょう

- ① ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。
- ② ミニディスクを入れる。
- ③ 録音可能時間を確かめる。
- ④ アンプの入力切り換えを録音したいソースにする。

8

48

アナログ

ANALOG録音のしかた

1 微調整の設定をしたいとき

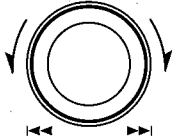
- ① "REC MODE"をオンにする

REC MODE/CHARAC.



- ② 設定調整モードを選ぶ

JOG DIAL



- ③ 確定する



設定調整不要の場合は、手順②へ進みます。

押すたびに切り換わります。

- ① REC MODE: オフ
- ② REC MODE: オン

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① AUTO CUT? : AUTO CUTのオン/オフ切り換え
- ② AUTO TIME? : AUTO TNOの無音検出時間の設定
- ③ AUTO LEVEL? : AUTO TNOの無音検出レベルとSOUND SYNCHROの音声検出レベルの設定
- ④ REC→WRITING? : 録音終了時のUTOC書き込みモードの切り換え

●設定調整モードの詳細は、「REC MODEキーについて」を参照してください。

23

アナログ

モノ

2 "ANALOG"または"MONO"を選ぶ

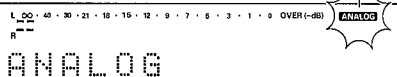
REC INPUT



押すたびに切り換わります。

- ① ANALOG : アナログ"ステレオモード"
- ② DIGITAL 1 : OPTICALモード
- ③ DIGITAL 2 : COAXIALモード
- ④ MONO : アナログ"モノラル長時間モード"

"ANALOG"点灯

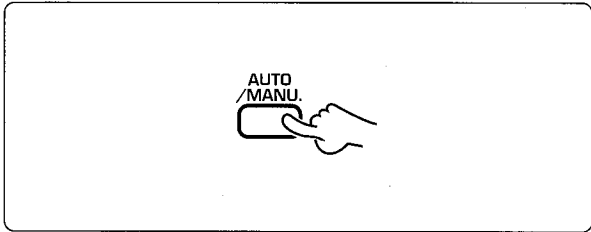


- 録音の一時停止中は、MONOには切り換わりません。
- MONOの一時停止中は、REC INPUT切り換えはできません。
- アナログ"モノラル長時間モード"で録音すると、ステレオで録音したときの約2倍の時間を録音することができます。

3 "AUTO"または"MANUAL"にする (リモコンのみ)

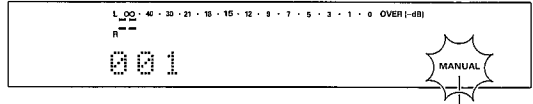
オート

マニュアル



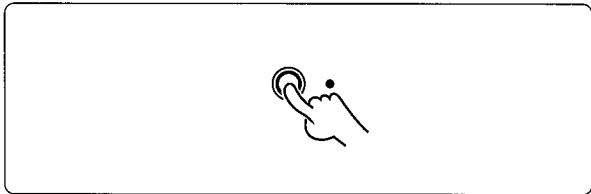
押すたびに切り換わります。

- ①消灯 (AUTO) : 自動的に、トラックナンバーをつけるとき - 23
- ②MANUAL : 任意に、トラックナンバーをつけるとき - 23



"AUTO"時消灯、"MANUAL"時点灯

4 録音一時停止にする



- キーを押すと、自動的に録音一時停止になります。

5 録音レベルを調節する (本体のみ)

① 録音するソースを再生する

② 録音レベルを調節する



レベルが
低くなる

レベルが
高くなる

- レベルメーターの赤い部分が点灯したときは、レベルを下げてください。

6 録音を始める

① 〇キーを押す



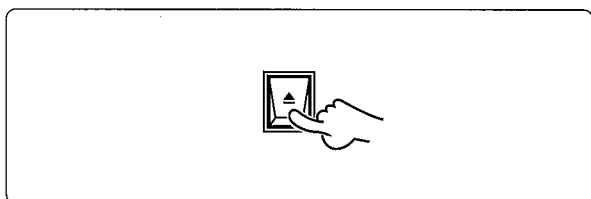
② 録音するソースを初めから再生する

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき録音はできません。

- "DISC FULL" : ミニディスクが一杯になっている
→ 不要な曲を消す。 - 40 - 42
- "PROTECTED" : 誤消去防止つまみが開いている
→ 閉める。 - 8
- "PLAY ONLY" : 再生専用ミニディスクである
→ 録音用ミニディスクを入れる。

- 録音中にEDIT/SPACEキーを押すと、その位置にトラック番号が付けられません。

7 録音終了後、ミニディスクを取り出す



情報を書き込み中

ミニディスク排出

- 録音中は、イジェクト(▲)キーは、受け付けません。



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

デジタル 録音のしかた (DIGITAL)

DMF-3D20 (J)

28

録音用ミニディスクを使用して録音することができます。本機がCDプレーヤー等のデジタル出力を持った機器と、デジタルコードまたは光ファイバーケーブルで接続されている場合、デジタル入力端子より入力された信号をデジタルの状態です録音します。(以後、デジタル録音と呼びます。)高音質の録音をお楽しみください。

準備しましょう

- ①ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。
- ②ミニディスクを入れる。
- ③録音可能時間を確かめる。
- ④アンプの入力切り換えを録音したいソースにする。

→ 8

→ 48

デジタル

DIGITAL録音のしかた

1 微調整の設定をしたいとき

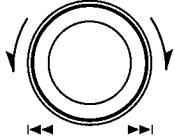
- ① "REC MODE"をオンにする

REC MODE/CHARAC.



- ② 設定調整モードを選ぶ

JOG DIAL



- ③ 確定する



設定調整不要の場合は、手順②へ進みます。

押すたびに切り換わります。

- ① REC MODE: オフ
- ② REC MODE: オン

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① AUTO CUT? : AUTO CUTのオン/オフ切り換え
- ② AUTO TIME? : AUTO TNOの無音検出時間の設定
- ③ AUTO LEVEL? : AUTO TNOの無音検出レベルとSOUND SYNCHRO REC, AUTO CUT, REC AUTO PAUSEの音声検出レベルの設定
- ④ REC → WRITING? : 録音終了時のUTOC書き込みモードの切り換え

●設定調整モードの詳細は、"REC MODEキーについて"を参照してください。

→ 23

デジタル

2 "DIGITAL 1, 2"のいずれかを選ぶ

REC INPUT



押すたびに切り換わります。

- ① ANALOG : アナログ"ステレオモード"
- ② DIGITAL 1 : オプティカルモード
- ③ DIGITAL 2 : COAXIALモード
- ④ MONO : アナログ"モノラル長時間モード"

オート

マニュアル

3 "AUTO"または"MANUAL"にする (リモコンのみ)

AUTO/MANU.



押すたびに切り換わります。

- ① 消灯 (AUTO) : 自動的に、トラックナンバーをつけるとき
- ② MANUAL : 任意に、トラックナンバーをつけるとき

→ 23

→ 23

4 録音一時停止にする



- キーを押すと、自動的に録音一時停止になります。

5 録音を始める

1



ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、デジタル録音はできません。

- | | |
|----------------|---|
| "DISC FULL" | :ミニディスクが一杯になっている。
→不要な曲を消す。 - 40 - 42 |
| "001 UNLOCK" | :デジタルコードまたは光ファイバーケーブルが外れているか、不完全である。(接続されていない)
→デジタルコードまたは光ファイバーケーブルを正しく接続する。 - 10 |
| "001 SCMS ON" | :SCMSによってデジタル録音禁止になっている。
→アナログ録音にする。 - 26 |
| "001 NotAudio" | :入力されているデジタル信号がオーディオ信号でない。
→アナログ録音にする。 - 26 |
| "PROTECTED" | :誤消去防止つまみが開いている。
→閉める。 - 8 |
| "PLAY ONLY" | :再生専用ミニディスクである。
→録音用ミニディスクを入れる。 |

- 録音中にEDIT/SPACEキーを押すと、その位置にトラック番号が付けられます。
- トラック番号(001)の表示は、録音ができなかったときのトラックを表示しています。
- 録音中に一時停止をしたとき、再び録音を開始すると、トラック番号は"1"繰り上がります。

6 録音したいソースを再生する

- 曲の初めから余裕をもって録音するには、MDレコーダーの時間表示が動き始めてから、録音したいソースの再生を始めてください。

7 録音終了後、ミニディスクを取り出す



- 録音中は、イジェクト(▲)キーは、受け付けません。



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。



CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は"再生中の曲を消す(TRACK ERASE)"を参照して削除してください。

CDとのシンクロ録音のしかた

ケンウッド製のシステムコントロール端子の付属した"SLIB"タイプのアンプおよびCDプレーヤーと本機をシステムコントロールコードで接続されていると、本機とCDプレーヤーを同時にスタートさせることができます。

- ① アンプの入力切り換えをCDにする
- ② CDを一時停止にする
- ③ CDの録音したい曲を◀◀、▶▶キーで選ぶ
- ④ MDレコーダーを録音一時停止にする
- ⑤ CDの再生を始める

●SOUND SYNCHRO REC. AUTO CUT, REC. AUTO PAUSEの動作中はシンクロ録音はできません。

デジタル

DIGITAL録音とSCMSについて

ミニディスクでは、下記の条件において、デジタル録音することはできません。

コピー禁止コードが付いているとき、「001SCMS ON」と表示して録音一時停止になります。
(トラック番号"001"を録音中にコピー禁止になった場合)

サンプリング・レート・コンバーターについて

通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

48 kHz :DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。

44.1 kHz :DATの標準モード、CD、MD等。

32 kHz :DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。

一般的にデジタル伝送による高音質録音をする場合、ソース機器側と録音機器側のサンプリング周波数が一致していなければ録音できませんが、本機は、サンプリング・レート・コンバーターを内蔵しているので、48 kHz、32 kHzのデジタル信号はMDのサンプリング周波数(44.1 kHz)に変換して、録音することができます。

衛星放送によっては、SCMSが働くことがあります。

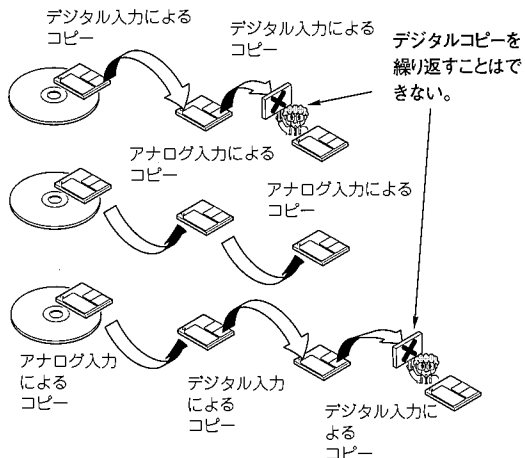
デジタル オーディオ テープデッキ

(DAT:Digital Audio Tapedeck)

シリアル コピー マネージメント システム

SCMS (Serial Copy Management System) について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。



市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行なうことができます。再生専用のミニディスクは編集できません。
("PGM"表示点灯のときは、編集できません。)

MD規格上の機能制限について

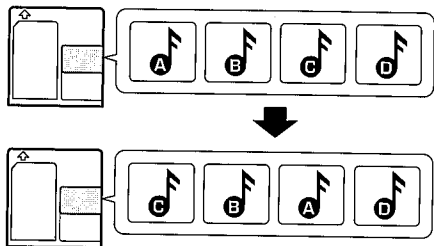
いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、「MD規格上の症状」をご確認くださいませようお願いします。
→ 50

編集機能のタイプを選ぶ

曲の入れ換え

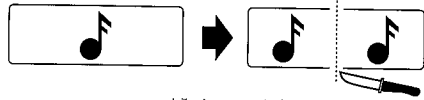
再生中の曲を入れ換える (TRACK MOVE) トラック ムーブ → 32

曲をまとめて入れ換える (QUICK MOVE) クイック ムーブ → 34

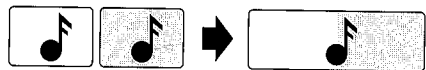


曲の分割と結合

再生中の曲を分ける (TRACK DIVIDE) トラック ダイバインド → 36

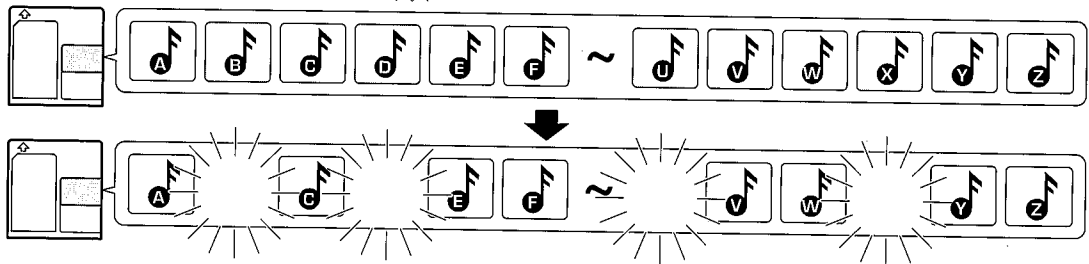


再生中の曲をつなぐ (TRACK COMBINE) トラック コンバインド → 38

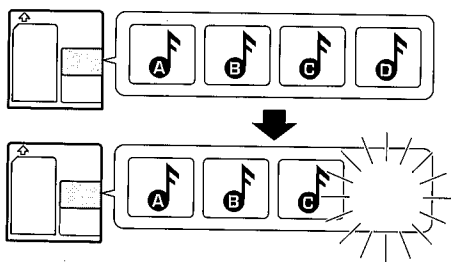


任意の曲の消去 (QUICK ERASE)

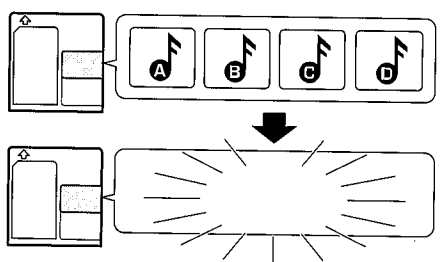
任意の曲を消す (QUICK ERASE) クイック イレース → 42



再生中の曲を消す (TRACK ERASE) トラック イレース → 40



全曲消す (ALL ERASE) オール イレース → 42



タイトル編集のしかた

→ 44

ミニディスクや曲にタイトルをつけたり、タイトルを変更、消去することができます。

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ換えることができます。

準備しましょう

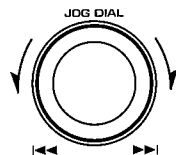
- ① MDの移動させたい曲を再生する。
エディット スペース
- ② EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

再生中の曲を入れ換える (TRACK MOVE)

トラック ムーブ

1 "MOVE"を選ぶ

① "MOVE"を選ぶ



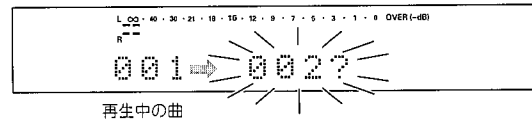
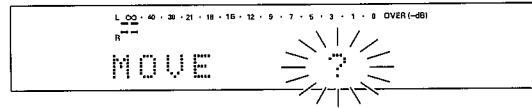
② 確定する



ジヨグダイヤルを回すたびに切り換わります。

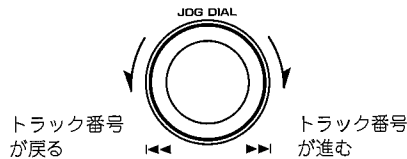
- ① ディバイド DIVIDE ? : 曲を分ける
- ② コンバイン COMBINE ? : 曲をつなぐ
- ③ イレイズ ERASE ? : 曲の消去
- ④ ムーブ MOVE ? : 曲順を入れ換える

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



2 移動先の曲を選ぶ

① 移動先の曲(トラック番号)を選ぶ

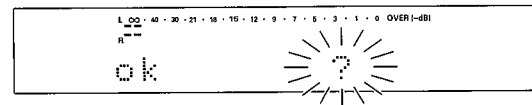
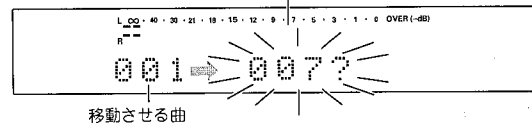


② 確定する

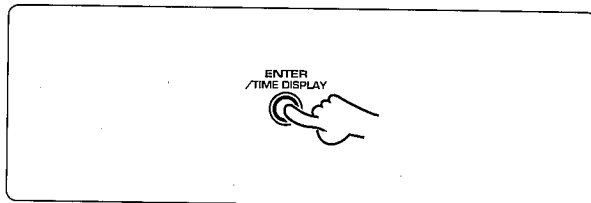


移動例: 1曲目を7曲目にする。

移動先のトラック番号



3 曲順の入れ換えを実行する



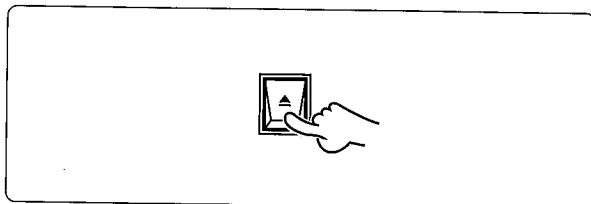
実行後の表示

エディット
EDIT NOW! : 編集中
コンプリート
COMPLETE! : 編集完了
キャンセル、エディット
CAN'T EDIT : 編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

→ 33

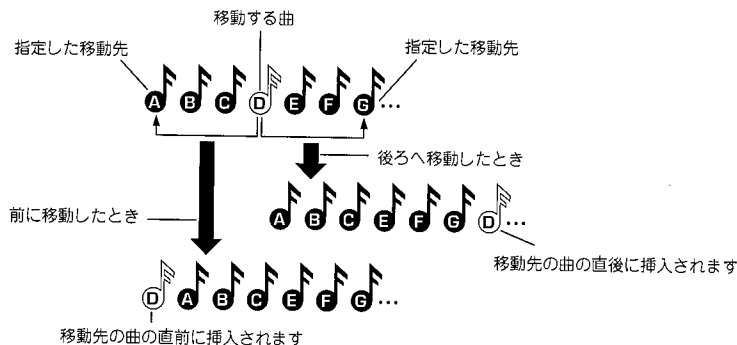
4 ミニディスクを取り出す



情報を書き込み中 ミニディスク排出

ライティング
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

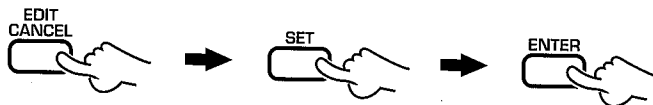
曲を移動するイメージ



編集した内容を取り消すとき(EDIT CANCEL)

エディット キャンセル

ミニディスクを取り出す前に、次のキー操作をすると、ディスクを入れた状態に戻すことができます。取り消し後、あらためて各編集の操作をしてください。



- 編集作業後、録音作業をした場合、および"DISC ERROR"表示後の編集は、取り消しができませんのでご注意ください。

並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ換えます。

準備しましょう

- ① MDを停止する。
エディット スペース
- ② EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

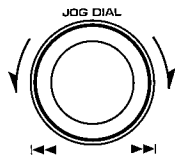
1回の処理で入れ換えられるのは、連続する255曲の範囲です。

曲をまとめて入れ換える (QUICK MOVE)

クイックムーブ

1 "Q. MOVE"を選ぶ

- ① クイックムーブ
Q. MOVEにする



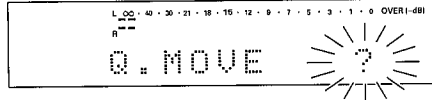
- ② 確定する



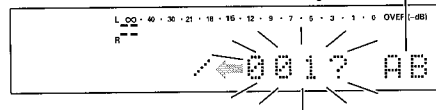
ジヨグダイヤルを回すたびに切り替わります。

- ① Q. MOVE? : 曲をまとめて入れ換える
- ② Q. ERASE? : 曲をまとめて消去

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



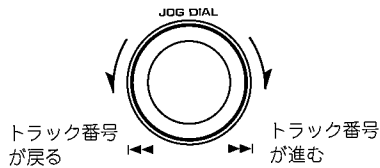
タイトルスクロール



●中止するときは、もう一度EDIT/SPACEキーを押します。

2 移動したい曲を選ぶ

- ① 曲(トラック番号)を選ぶ

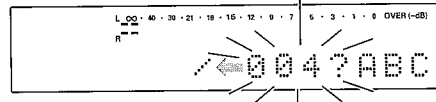


- ② 確定する



手順①と②を繰り返して、移動したい曲を選びます。

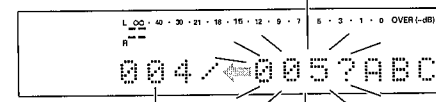
選ばれたトラック番号



●DELETEキーを押すと、最後に選んだ曲に限り取消しができます。(それ以前に選んだ曲の取消しをするには、いったん編集を中止し、最初からやりなおしてください。)

●◀◀キー(または▶▶キー)で、選んだ曲順の確認ができます。

次のトラック番号



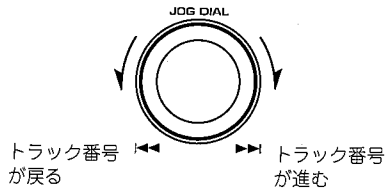
選ばれたトラック番号

3 移動したい曲の選択を終了する



4 移動先を決める

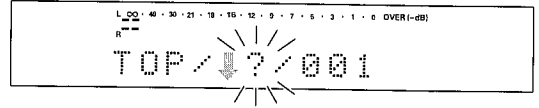
① 移動先の曲を選ぶ



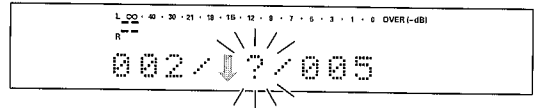
② 移動先を確定する



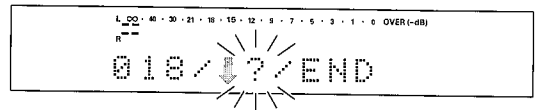
トラック番号の最初に移動したとき:



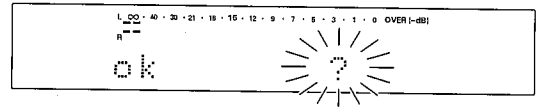
トラック番号の間に移動したとき:



トラック番号の最後に移動したとき:



確定したとき:



5 曲順の入れ換えを実行する



6 ミニディスクを取り出す



実行後の表示

エディット
EDIT NOW! : 編集中
コンプリート
COMPLETE! : 編集完了
キャンセル エディット
CAN'T EDIT : 編集不完全

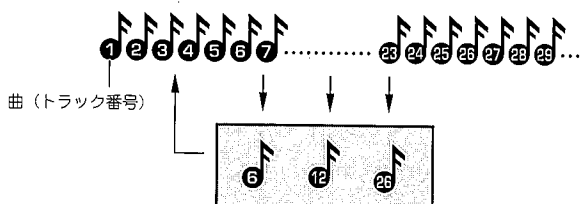
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 表示が "COMPLETE !" 点灯中に、▲キーやPOWERキーを押すと、並べ換えが途中で中断されることがあります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL" の操作をすると編集前の状態に戻ります。

→ 33



ライティング
"WRITING" 表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲順をまとめて入れ換えるイメージ



曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。プレビューを使って、分割点を繰り返し聴きながら微調整ができます。

準備しましょう

- ① MDの分割したい曲を再生する。
エディット スペース
- ② EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

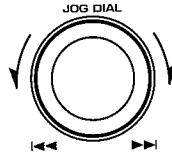
MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、「MD規格上の症状」をご確認くださいませようお願いします。
→50

再生中の曲を分ける (TRACK DIVIDE)

1 "DIVIDE"を選ぶ

- ① "DIVIDE"を選ぶ



- ② 確定する



プレビューをしないときは、一度ENTERキーを押して("ok?"と表示)から手順③へ進みます。

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① **DIVIDE?** : 曲を分ける
- ② **COMBINE?** : 曲をつなぐ
- ③ **ERASE?** : 曲の消去
- ④ **MOVE?** : 曲順を入れ換える

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

L 00 40 30 21 18 15 12 9 7 5 3 1 0 OVER (-dB)
R
DIVIDE ?

L 00 40 30 21 18 15 12 9 7 5 3 1 0 OVER (-dB)
R
003 <> 004 ?

2 プレビューをするとき

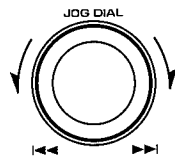
- ① 分割モードにする



- ② プレビューの実行



- ③ 分割の微調整をする



- ④ 分割点を確定する



L 00 40 30 21 18 15 12 9 7 5 3 1 0 OVER (-dB)
R
DIVIDE+ 00

L 00 40 30 21 18 15 12 9 7 5 3 1 0 OVER (-dB)
R
PREVIEW 2SEC

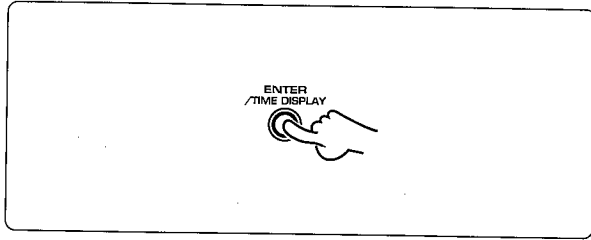
- 分割点の最初の3秒を繰り返します。
- 曲の最後のところでプレビューをすると、次の曲(最終曲の場合は1曲目)へと続けてプレビューしますが、次の曲に入ったところでは、ディバインドきません。

L 00 40 30 21 18 15 12 9 7 5 3 1 0 OVER (-dB)
R
DIVIDE+ 04

- 音を聴きながら、微調整ができます。
- 分割点の微調整は、始めにEDIT/SPACEキーを押したところから後に、60mS(6/100秒)単位で32ステップ可能です。分割したいところより、少し手前で操作してください。

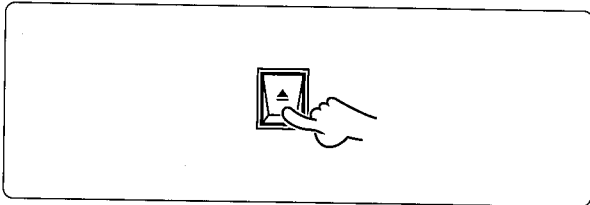
L 00 40 30 21 18 15 12 9 7 5 3 1 0 OVER (-dB)
R
ok ?

3 曲の分割を実行する



手順⑦～⑨を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

4 ミニディスクを取り出す



実行後の表示

エディット
EDIT NOW! : 編集中

コンプリート
COMPLETE! : 編集完了

キャンセル エディット
CAN'T EDIT : 編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 曲が2つに分けられます。
- 分けられた後半の曲から一時停止になります。
- 分割で生まれた曲間には、無録音部分がありません。
- MDの規格の制限で、曲を分けられない場合があります。
- 誤って実行をした場合は、"エディット キャンセルEDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

- 33 -



情報を書き込み中

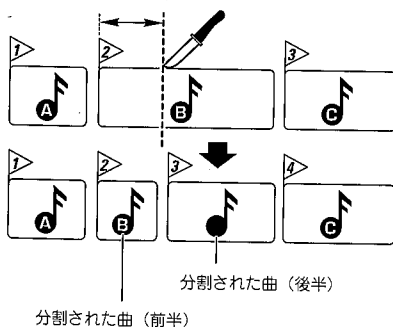
ミニディスク排出



ライティング
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

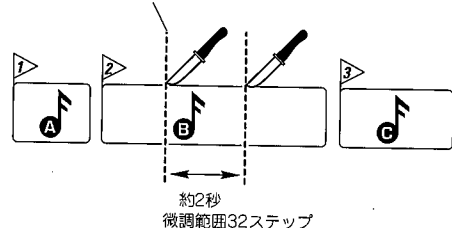
曲を分割するイメージ

約2秒以上必要



プレビューのイメージ

EDIT/SPACEキーを押したところ



トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

準備しましょう

- ① MDのつなぎたい曲を再生する。
エディットスペース
- ② EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

MD規格上の機能制限について

いくつかの機能には、MD規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、「MD規格上の症状」をご確認くださいませようお願いします。

-50

再生中の曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

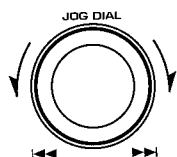
トラック コンバイン

1 "COMBINE"を選ぶ

コンバイン

① "COMBINE"を選ぶ

コンバイン

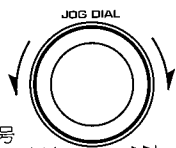


② 確定する



再生中の曲を、次の曲とつなぐ場合は手順③へ進みます。

2 つなぎたい曲を選ぶ

トラック番号
が戻るトラック番号
が進む

3 確定する

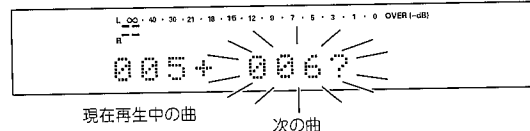
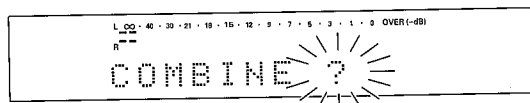


ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

再生中:

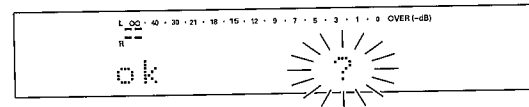
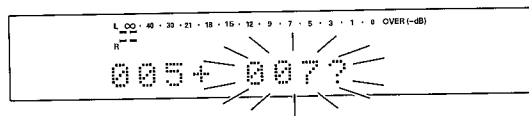
- ① ディバイド DIVIDE? : 曲を分ける
- ② コンバイン COMBINE? : 曲をつなぐ
- ③ イレース ERASE? : 曲の消去
- ④ ムーブ MOVE? : 曲順を入れ換える

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

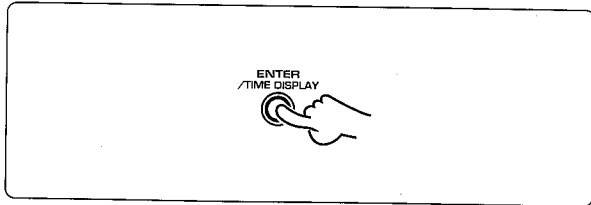


- 再生中に曲をつなぐ場合、目的の2曲のうち、前半となる曲の再生中にEDIT/SPACEキーを押してください。(再生中の曲と、直後の曲がつながります)
- 再生中に編集を始めると、一時停止になります。

5曲目と7曲目をつなぐ場合:



4 曲と曲の結合を実行する



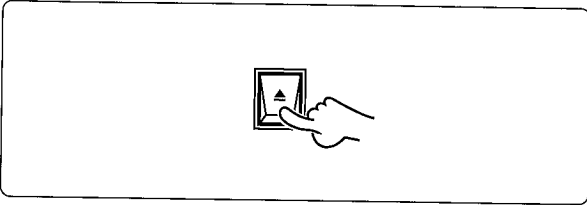
実行後の表示

エディット
EDIT NOW ! : 編集中
コンプリート
COMPLETE ! : 編集完了
キャンセル、エディット
CAN' T EDIT : 編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 再生中に編集を始めた場合は、その曲で一時停止になります。
- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

- 33 -

5 ミニディスクを取り出す



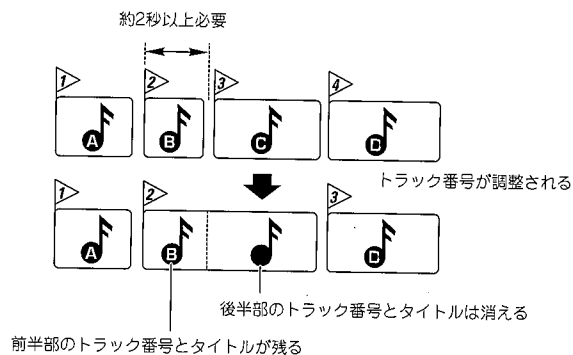
情報を書き込み中

ミニディスク排出



ライティング
" WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐイメージ



再生中にその曲のみ消去することができます。
消去すると元に戻せませんので、十分注意してください。

準備しよう

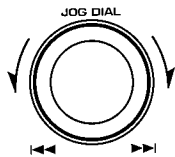
- ① MDの消したい曲を再生する。
- ② エディット スペース EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

トラック イレース

再生中の曲を消す (TRACK ERASE)

1 イレース "ERASE"を選ぶ

① "ERASE"を選ぶ



② 確定する



2 消去の確認



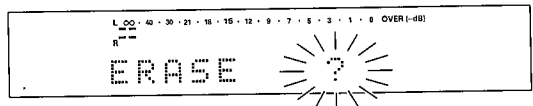
3 消去を実行する



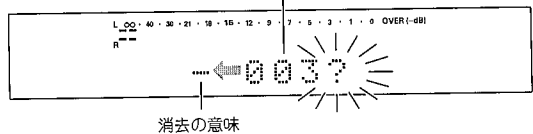
ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① デバインド DIVIDE ? : 曲を分ける
- ② コンビン COMBINE ? : 曲をつなぐ
- ③ イレース ERASE ? : 曲の消去
- ④ ムーブ MOVE ? : 曲順を入れ換える

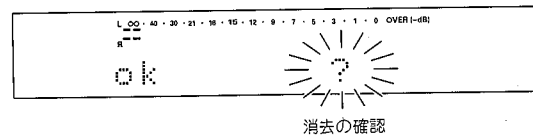
●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



消去するトラック番号



消去の意味



消去の確認

実行後の表示

- エディット EDIT NOW ! : 編集中
- コンプリート COMPLETE ! : 編集完了
- キャンセル CAN'T EDIT : 編集不完全

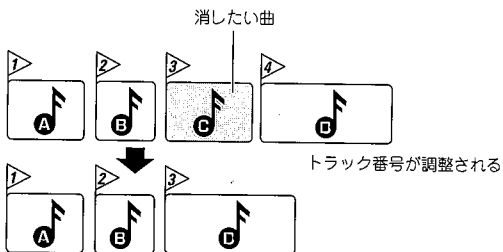
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 再生中の曲が消去されます。(トラックタイトル含む)
- 誤って実行をした場合は、"エディット キャンセルEDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

4 ミニディスクを取り出す



✖ **Ⓜ** ライティング
 "WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

消したい曲のイメージ



停止中に、任意の曲を簡単に消去することができます。
消去すると元に戻れませんので、十分注意してください。

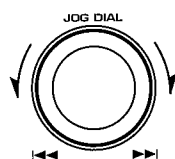
準備しましょう

- ① MDを停止する。
- ② EDIT/SPACEキーを押す、編集モードをオンにする。

任意の曲を消す (QUICK ERASE)

1 クイックイレース "Q.ERASE" を選ぶ

- ① クイックイレース "Q.ERASE" を選ぶ



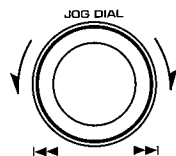
- ② 確定する



全曲を消去する場合は、手順③へ進みます。

2 任意の曲を消去する

- ① 消すトラック番号を選ぶ



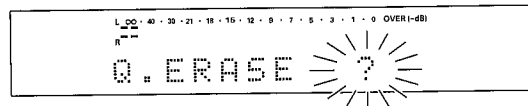
- ② 確定する



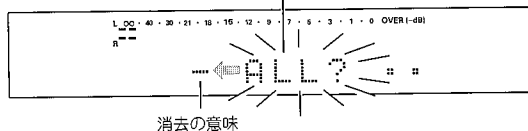
手順①から②を繰り返して、任意の曲を消去することができます。

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

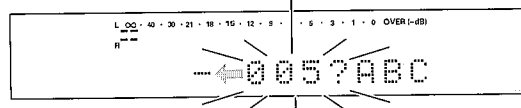
- ① Q.MOVE? : 曲をまとめて入れ換える
- ② Q.ERASE? : 曲をまとめて消去



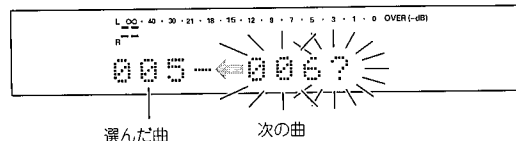
全曲消去の確認



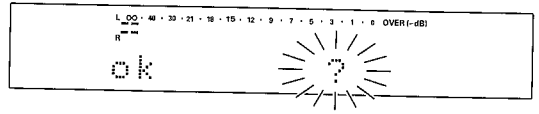
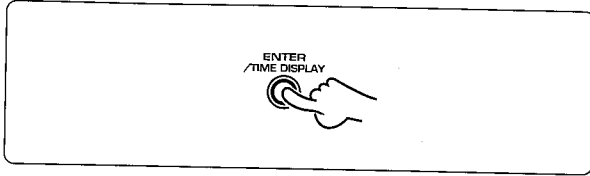
選んだ曲



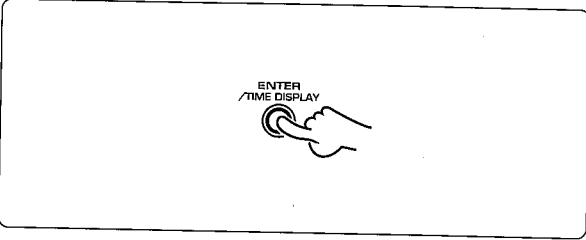
- DELETEキーを押すと、最後に選んだ曲に限り取消しができます。(それ以前に選んだ曲の取消しをするには、いったん編集を中止し、最初からやりなおしてください。)
- ◀◀キー(または▶▶キー)で、選んだ曲の確認ができます。



3 消去したい曲の選択を終了する



4 消去を実行する



実行後の表示

エディット

EDIT NOW! : 編集 中

コンプリート

COMPLETE! : 編集 完了

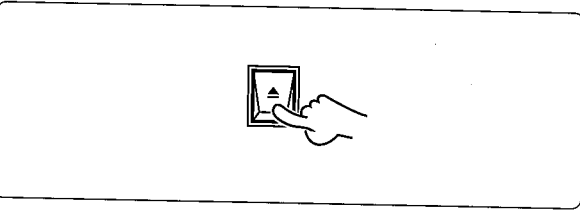
キャンセル エディット

CAN'T EDIT : 編集 不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

- 33

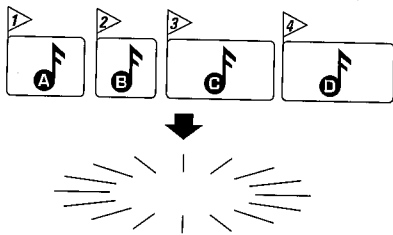
5 ミニディスクを取り出す



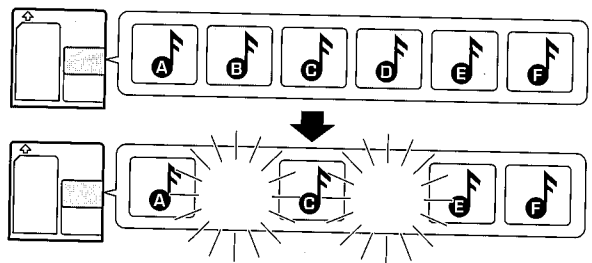
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

任意の曲の削除 (QUICK ERASE) イメージ

全曲を消去したとき:



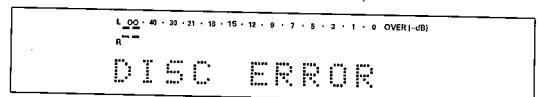
任意の曲を消去したとき:



ディスク エラー

"DISC ERROR"表示をしたときは

正常なはずのミニディスクが、"DISC ERROR"表示になった時、"全曲消去 (ALL ERASE)"の操作をする前に、もう一度ミニディスクを入れ直してください。正常にミニディスクの内容が読める場合があります。



- "DISC ERROR"表示後"ALL ERASE"操作は可能ですが、"EDIT CANCEL"はできません。

ミニディスクや曲にタイトルを付けておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

準備しましょう

- ① MDを停止、再生または録音する。
- ② **TITLE INPUT**キーを押し、タイトル入力モードをオンにする。

タイトル編集のしかた

1 変更したい項目を選ぶ

本体

①トラックタイトルかディスクタイトルを選ぶ

戻る 進む

リモコン

戻る CHARACTER / SEARCH 進む

② 確定する

SET

中止するときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。



タイトルを入力するときは、手順②へ進みます。
 タイトルを変更または削除するときは、手順③へ進みます。

入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)
 カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。

スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(DELETE)をご利用ください。

プリセットタイトルについて

良く使うタイトルやお好みのタイトルを、任意のプリセットタイトルに記憶しておくと、タイトル編集が簡単に行うことができます。

お好みによりプリセットタイトル名の変更やミニディスクへのそのタイトルを入力するには"タイトル編集のしかた"の操作で行います。

初期設定は次の通りです。

PRE1: Pops、PRE2: Rock、PRE3: Classic、PRE4: Jazz、PRE5: Disco、
 PRE6: Best Hits、PRE7: Air Check、PRE8: No.、PRE9: Vol.、

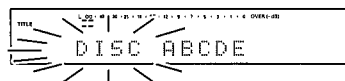
●変更したプリセットタイトルを初期設定に戻すには、"マイコンをリセットするには"を参照してください。

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① DISC : ディスクタイトル
- ② 001 : トラックタイトル
- ③ PRE 1-PRE 9 : プリセットタイトル
- ④ ALL ERASE? : ディスクとトラックの全タイトル消去

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

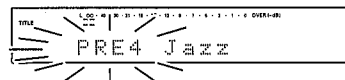
ディスクタイトルのとき:"DISC"を選びます。



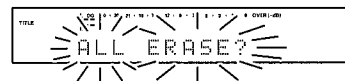
トラックタイトルのとき:目的のトラック番号を選びます。



プリセットタイトルのとき:目的のプリセット番号を選びます。



ディスクとトラックの全タイトル消去のとき:



タイトル編集可能文字

次のようなカタカナ文字やアルファベット文字、並びに各種記号(ASCIIコード)などを選ぶことができます。

英字の大文字26種類: ABCD~WXYZ

英字の小文字26種類: abcd~wxyz

数字10種類: 0123456789

スペース&記号25種類: !"#%&'()*+,-./:;<->?@_「

カタカナ文字81種類: アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニ
 ヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲ
 ン

アイウエオヤユヨツ

ガギグゲゴザジズゼゾタチツテドバビブベボウ
 バビブベポー


カタカナの濁音、半濁音は本体のドット表示管には、2文字文使用して表示しています。

例: ケンウツト

2 タイトルを入力するとき


本体

REC MODE/CHARAC.



リモコン

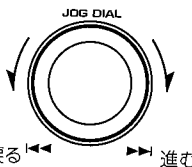
CHARA.
P.MODE



① 文字グループを選ぶ

② 文字を選ぶ


JOG DIAL



ア	カ ABC	サ DEF
1	2	3
タ GHI	ナ JKL	ハ MNO
4	5	6
マ PRS	ヤ TUV	
7	8	9
&(-)/ +100	ワヨロQZ	.,:?! +10
	0	


または

CHARACTER
SEARCH




③ 文字を確定する

SET



SET



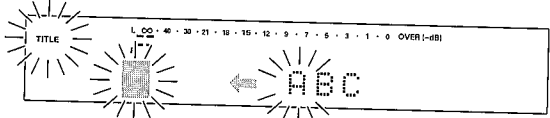
下記の文字グループを選ぶことができます。

- ・A～Zと、スペース(1文字分の空白)
- ・a～zと、スペース
- ・0～9と、各種記号、プリセットタイトル(9つ)
- ・カタカナと、スペース

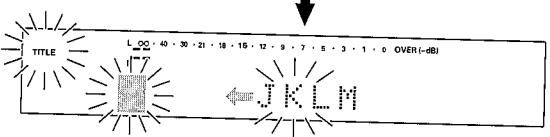
ジョグつまみを操作するたびに切り換わります。

- ・A～Zと、スペース(1文字分の空白):
→ A → B → C → D → E → F → → X → Y → Z →
- ・a～zと、スペース:
→ a → b → c → d → e → f → → x → y → z →
- ・0～9と、各種記号、プリセットタイトル(9つ):
→ 0 → 1 → → 9 → → ! → " → / → : → ; →
PRE9 ← ← PRE1 ← _ ← @ ← ? ← ← ; ←
- ・カタカナと、スペース:
→ ア → イ → ウ → → レ → ロ → ワ → ラ → ン → ア → イ
← ← ボ ← ベ ← プ ← ← ガ ← ヲ ← ヨ ← ← ウ →

新規にタイトル入力する例:
初期表示



↓



選択文字

- 表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。
- リモコンでも、数字キーで直接文字を選ぶことができます。
(例: [2]キーを押したとき、A→B→Cと切り換わります。)
- ◀、▶キーで、カーソルを左右に移動できます。
- タイトル入力するとき、TITLE SERCHキーを押すと、「上書きモード」「挿入モード」に切り換わります。
- リモコンでカタカナの大きい文字、小さい文字、濁音、半濁音を入力したい時は、入力したい文字を◀、▶キーを何度か押して選択した後、CHARA./P.MODEキーを押してください。

エディット スペース

●EDIT/SPACEキーで、1文字文のスペースを挿入することができます。

手順①～③を繰り返して、タイトルを入力します。



手順が次のページに続きます。

46 **3** タイトルの変更または消去するとき

本体

① カーソルを目的の(変更する)文字に合わせる

戻る 進む

リモコン

戻る 進む

CURSOR

② 文字グループを選ぶ

REC MODE/CHARAC.

CHARA.
P.MODE

③ "上書き"または"挿入"モードを選ぶ
(リモコンのみ)

TITLE

INPUT
SEARCH

④ 正しい文字を選ぶ

JOG DIAL

戻る 進む

ア	カ ABC	サ DEF
1	2	3
タ GHI	ナ JKL	ハ MNO
4	5	6
マ PRS	ヤ TUV	
7	8	9
&(-)/	ワランQZ	! : ?
+100	0	+10

または

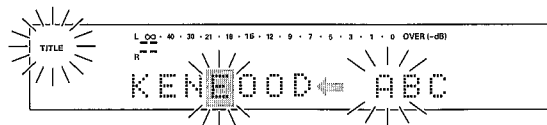
CHARACTER
SEARCH

⑤ 文字を確定する

SET

SET

手順①～⑤の繰り返しで、タイトルのすべての文字を変更できます。



選択文字、点滅

- 変更するタイトルが長く、表示部に入らない場合、◀◀、▶▶キーを押していくと表示がスクロールし、それまで表示されていなかった部分が現われます。
- 目的の文字を消したいときは、^{フリート}DELETEキーを押します。

下記の文字グループを選ぶことができます。

- A～Zと、スペース(1文字分の空白)
- a～zと、スペース
- 0～9と、各種記号、プリセットタイトル(9つ)
- カタカナと、スペース

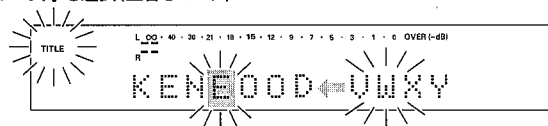
押すたびに切り換わります。

- ① 上書きモード：文字の上から入力するとき
- ② 挿入モード：文字の前または後ろから入力するとき

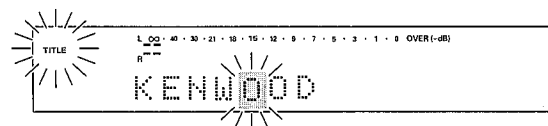
カーソルの種類

- 上書きモード：カーソル "が大きくなる"
- 挿入モード：カーソル "が小さくなる"

正しい文字を選択(上書きモード)：

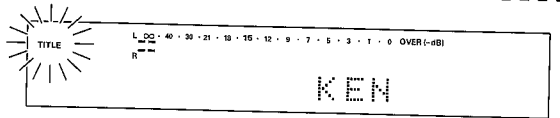
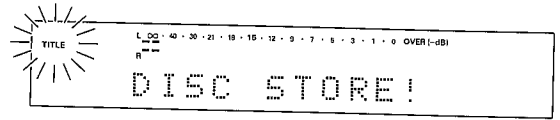
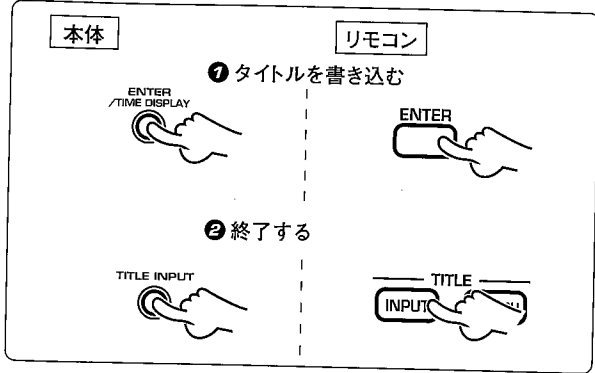


- 表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。
- リモコンでも、数字キーで直接文字を選ぶことができます。(例：[2]キーを押したとき、A→B→Cと切り換わります。)
- ◀◀、▶▶キーで、カーソルを左右に移動できます。



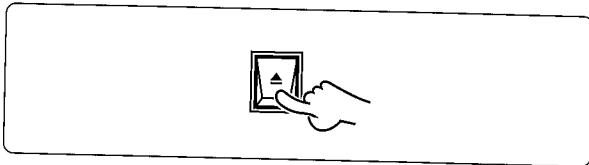
カーソルが移動

4 タイトルの編集を実行する



タイトルがスクロールする

5 ミニディスクを取り出す (本体のみ)



ライティング
 "WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

タイトル編集機能キーについて

CHARA.キー:

文字選択部に表示される文字のグループが切り換わります。

マニュアルサーチ(◀◀, ▶▶)キー:

タイトル入力の際、カーソルの移動ができます。

カーソルが [] (下半分のみ) のとき: 入力する文字はカーソルのある文字の前に入ります。

カーソルが [] のとき: カーソルのある文字が新しく入力する文字に置き換えられます。

DELETEキー:

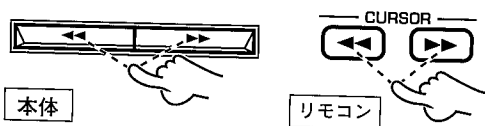
カーソルを合わせた文字が消去(削除)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん前に詰められます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力する)と、簡単にタイトルを消去できます。

EDIT/SPACEキー:

カーソルを合わせた文字の直前にスペース(1文字ぶんの空白)が入力(挿入)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん後ろに送られます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力する)こともできます。おもにタイトルに文字を追加するとき、追加する場所を先に作っておくために使います。

表示部のスクロールについて

タイトルを入力しているなど、情報の量が多すぎて表示部に入りきらないことがあります。このようなときは、◀◀、▶▶キーを続けて操作していくと、表示部の文字が右(または左)に流れて、それまで見えなかった内容が現われます。このような表示の動きを「スクロール」といいます。



スクロールの例

表示される範囲 (全体を表示できない)

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

スクロール⇒

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

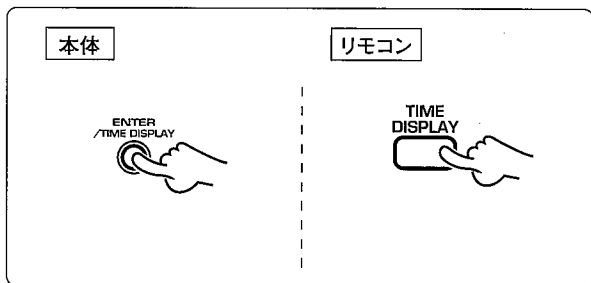
←スクロール

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

タイム ディスプレイ

TIME DISPLAY キーについて

時間表示のタイプを切り換えることができます。



押すたびに切り換わります。

再生中/停止中

- ① SINGLE(+) シングル : 曲の経過時間
- ② SINGLE(-) シングル : 曲の残り時間
- ③ TOTAL(+) トータル : 曲の総経過時間
- ④ TOTAL(-) トータル : 曲の総残り時間 (停止中は、総曲数も表示)
- ⑤ REMAIN リメイン : ミニディスクの録音可能残量時間
- ⑥ TITLE タイトル : トラックタイトル表示(再生中)/ミニディスクタイトル表示(停止中)

録音中

- ① SINGLE(+) シングル : 録音中の曲の経過時間
- ② TOTAL(+) トータル : 再生、録音の総経過時間
- ③ REMAIN リメイン : ミニディスクの録音可能残量時間

1曲も録音されていない場合

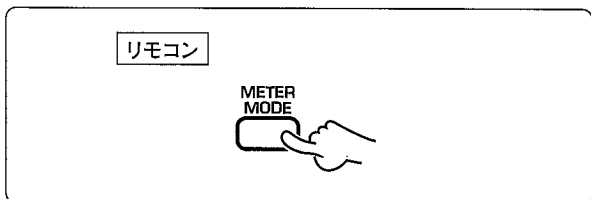
- ① SINGLE(+) シングル : "BLANK DISC"と表示(ディスクタイトルがある場合、"NO TRACKS"と表示)
- ② REMAIN リメイン : ミニディスクの録音可能残量時間
- ③ TITLE タイトル : ミニディスクタイトル表示

メーター モード

METER MODE キーについて

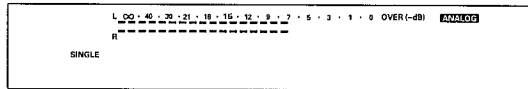
レベルメーターの表示内容をサイクリックに切り換えることができます。

1. ノーマル表示 : 0dB近辺のスケールが細かく設定してあるモード。通常録音(ロック)や再生(ポップス)に適したレベルメーターです。
2. ワイド表示 : 0dBから30dBまでほぼ等間隔にスケールが設定してあるモード。クラシックなどの微小レベルから高いレベルまでの激しい音楽を再生するのに適したレベルメーターです。

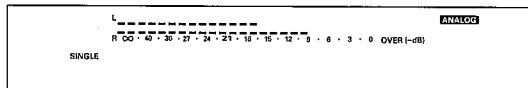


押すたびに切り換わります。

① ノーマル表示例 :



② ワイド表示例 :

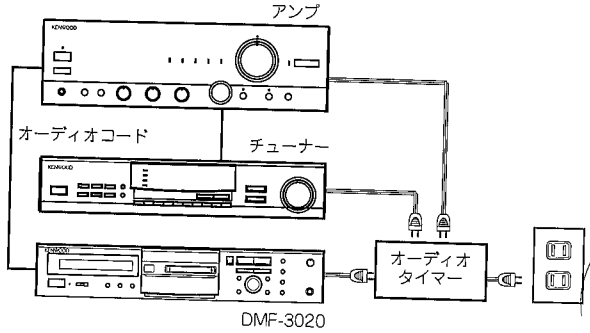


タイマーを利用して

市販のタイマーを利用して、お好きな時刻に再生や録音をすることもできます。

DMF-3020 (J)

各機器の電源コードは、タイマーを通して電源が入るように接続します。
 使用するタイマーの取扱説明書をよくお読みください。
 3日以上、電源が入らないようなタイマー録音設定はしないでください。最後の録音内容が消える場合があります。
 "メモリーバックアップ" → 9



タイマー再生、タイマー録音

1 各機器の電源をONにする

2 準備をする

<p>タイマー再生するとき</p> <p>録音済みミニディスクを入れる</p>	<p>タイマー録音するとき</p> <ol style="list-style-type: none"> 録音用ミニディスクを入れる 希望の放送局を受信する REC INPUTキーでソースに合わせる → 26 録音レベルを調整する
---	---

3 アンプの音量を決める

<p>タイマー再生するとき</p> <ol style="list-style-type: none"> ミニディスクを再生する アンプの音量を調節する ディスクを停止する 	<p>タイマー録音するとき</p> <p>アンプの音量を最小にする。</p>
---	--

4 タイマースイッチを設定する

<p>タイマー再生するとき</p>	<p>タイマー録音するとき</p>
-------------------	-------------------

5 タイマー時刻を設定する

<p>タイマー再生するとき</p> <p>希望の時刻がくれば本機の電源が入るようにタイマーを設定する。</p>	<p>タイマー録音するとき</p> <p>希望の時刻がくれば本機の電源が入り、チューナーを受信するようにタイマーを設定する。</p>
---	--

●本機もPOWERキーをオンにします。

- タイマー録音をする場合、誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。 → 8
- タイマー録音をする場合、必ず録音可能時間を確認してください。 → 48

●設定した時刻がくると、自動的にディスクの再生、または録音が始まります。(接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。)

●タイマースイッチ設定後、リモコンのON/STANDBYキーをオンにすると、タイマー動作が始まりますので、注意してください。

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

^{パワー}**POWER**キーがオンのままの状態、電源プラグをコンセントから抜き、イジェクト(▲)キーを押しながら、差し込みます。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

MD規格上の症状

症 状	原 因
まだ録音可能時間があるのに" ^{ディスク} DISC FULL"と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ●256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。) <p>このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、" 0:00"になります。</p>
短い曲を消しても、録音可能時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、" 0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の録音時間(60分、74分)と一致しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
" ^{リーディング} READING"が表示される時間が異常に長い。	<ul style="list-style-type: none"> ●新品の録音用ミニディスク(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。 ●編集を繰り返したミニディスクやトラック番号数の多いミニディスクを入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。。
タイトルが1792文字入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

ディスプレイ表示とその対応

ディスプレイ表示	意味	処置
ノディスク NO DISC	●ミニディスクが入っていない。	●ミニディスクを入れる。
アンロック 001 UNLOCK	●デジタルコードまたは光ファイバーケーブルがはずれているか、不完全である。(接続されていない。)	●デジタルコードまたは光ファイバーケーブルを正しく接続する。 - (19)
001 SCMS ON	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●アナログ録音に切り換える。 - (26)
ノットオーディオ 001 NotAudio	●入力されているデジタル信号がオーディオ信号でない。	●アナログ録音に切り換える。 - (26)
ディスク フル DISC FULL	●録音可能なエリアがない。 ●256曲目を録音しようとしている。	●録音用ミニディスクを入れ換える。 ●1枚のディスクには256曲以上録音できません。
タイトル フル TITLE FULL	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。 - (44)
ブランク ディスク BLANK DISC	●何も録音されていないミニディスクです。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。
ノトラック NO TRACKS	●曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。	●そのまま録音して問題ありません。
リーディング READING	トック ●TOC *1 情報を読んでいます。	●故障ではありません。
ライティング WRITING	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	●故障ではありません。
ディスク エラー DISC ERROR	ユートック ●UTOC *2 の内容が異常である。	●全曲消去"←ALL"を行う。それができないときは、ミニディスクを取り換えてください。- (42)
エディット ナウ EDIT NOW!	●編集集中である。	●故障ではありません。
キャンント エディット CAN'T EDIT	●長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集しようとしている。	●制限範囲内で編集する。
? の点滅	●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	エンター ●ENTERキーを押すと、編集が実行されます。
プロテクト PROTECTED	ライト プロテクト ●ミニディスクが"WRITE PROTECT"されている。	●"WRITE PROTECT"を解除する。 - (8)
プレイ オンリー PLAY ONLY	●再生専用ミニディスクである。	●録音用ミニディスクをいれる。

その他の症状

症状	原因	処置
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●コードの接続が間違っている。 ●ミニディスクが入っていない。 ●未録音ミニディスクが入っている。 ●<small>アウトプット</small> <small>レベル</small> OUTPUT LEVELが低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"に従い正しく接続する。 → [10] ●ミニディスクを入れる。 ●録音済ディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。 ●OUTPUT LEVELを調整する。 → [12]
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ●録音レベルが低い。(アナログ録音時) ●再生専用ミニディスクが入っている。 ●録音可能なエリアがない。 ●<small>レコーダ</small> REC INPUTキーの設定が実際の入力ソースと合っていない。 ●システムコントロールコードでシステム接続されているとき、アンプの入力切り換えがMDになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 → [8] ●アナログ録音にする。 → [26] ●録音レベルを調節し直す。 → [27] ●録音用ミニディスクを入れる。 ●ミニディスクを入れ換える。 ●実際の入力ソースと合わせる。 → [26] → [28] ●アンプの入力切り換えをMD以外にする。
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルを調節する。 → [27] ●ミニディスクを交換する。
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ●外部の雑音を誘導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電気器具、テレビなどから離す。
リモコンで電源がオンできない。	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の<small>パワー</small> POWERキーがオフになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●本体の<small>パワー</small> POWERキーをオンにする。



トラック **TOC*1** : 全てのミニディスクには音声信号以外にTOC (テーブル オフ コンテンツ Table Of Contents) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。 → [50]

ユーザトラック **UTOC*2** : TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOC (ユーザーズ テーブル オフ コンテンツ User's Table Of Contents) と呼びます。このUTOCには曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。 → [50]

【規格】

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り(半導体レーザー)
記録方式	磁界変調オーバーライト
音声圧縮方式	ATRAC (Adaptive ^{アダプティブ} Transform ^{トランスフォーム} Acoustic ^{アコースティック} Coding ^{コーディング})
回転数	約400rpm ~ 900rpm (CLV)

【D/Aコンバーター】

D/Aコンバーター	1 ビット
オーバーサンプリング	8 fs (352.8 kHz)

【A/Dコンバーター】

A/Dコンバーター	5次 $\Delta \Sigma$ 変調方式
サンプリング周波数	44.1kHz

【デジタルオーディオ性能】

周波数特性(再生時)	8Hz ~ 20 kHz
SN比(再生時)	100 dB 以上
ダイナミックレンジ(再生時)	90 dB 以上
総合ひずみ率(1 kHz, 再生時)	0.01 % 以下
ワウ・フラッター(EIAJ)	測定限界以下
アナログ入力感度/入力インピーダンス	500mV / 22 k Ω 以上
アナログ出力レベル/出力インピーダンス	2.0V / 400 Ω 以下
ヘッドホン	20mW/32 Ω 負荷
デジタル入力	
コアキシャル	0.5Vp-p/75 Ω
オプチカル(発光波長 660nm)	-15dBm ~ -21dBm
デジタル出力	
コアキシャル	0.5Vp-p/75 Ω
オプチカル(発光波長 660nm)	-15dBm ~ -21dBm

【電源部・その他】

電源電圧・電源周波数	AC 100 V 50 / 60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)	11 W
最大外形寸法	幅 440 mm
	高さ 94 mm
	奥行 379 mm
質量(重量)	4.0 kg (正味)



- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理をご依頼になるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

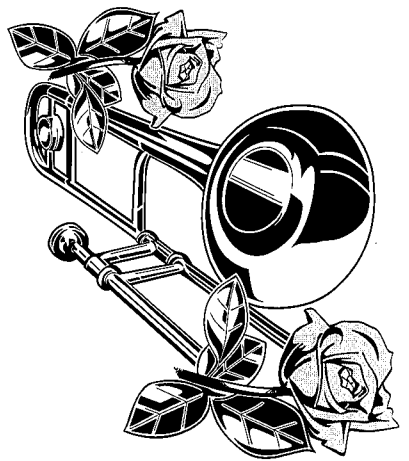
修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 () -



KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話（03）3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
（大阪）電話（06）357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。